

本市では、令和5（2023）年3月に「交通手段が充実し、すべての人が安心して円滑に移動できるまち」を基本的な方針とした「郡山市総合交通計画マスタープラン」を策定し、本市の特性を生かした総合的な交通環境づくりの取り組みを進めています。

市民の皆さまの移動方法・移動目的等を把握し、今後の施策の参考とするため、アンケートを実施いたしましたので、その結果についてお知らせします。（総合交通政策課）

【調査概要】

○調査期間	令和6年8月5日(月)～8月14日(水)（10日間）
○回答方法	専用ウェブサイトから回答を送信する。
○モニター数	411名（男性 173名 女性237名 不明1名）
○回答者数	371名（男性 152名 女性218名 不明1名）
○回答率	90.3%

【分析】

《回答者内訳（人）》

年代	10代～20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	合計
男性	2	9	29	41	28	26	17	152
女性	10	32	64	60	40	11	1	218
不明	0	0	1	0	0	0	0	1
合計	12	41	94	101	68	37	18	371

《第1章 公共交通等での移動について》

- ・路線バスで移動する方の割合は全体の54.8%であった。その内「年に数回程度」が39.4%と最も高かった。（問1）
- ・路線バスの主な利用目的は「レジャー」が46.8%で最も高かった。（問2）
- ・鉄道(在来線)で移動する方の割合は全体の63.3%であった。その内「年に数回程度」が55.8%と最も高かった。（問4）
- ・鉄道(在来線)の主な利用目的は「レジャー」が76.6%で最も高かった。（問5）
- ・タクシーで移動する方の割合は全体の53.7%であった。その内「年に数回程度」が49.1%と最も高かった。（問8）
- ・タクシーの主な利用目的は「懇親会等」が53.8%で最も高かった。（問9）
- ・乗合タクシーの認知度は43.9%であった。（問12）

《第2章 高速道路での移動について》

- ・高速道路で移動する方の割合は全体の85.8%であった。（問15）
- ・主に利用されるインターチェンジは「郡山IC」で55.3%であった。（問16）
- ・高速道路の主な利用目的は「レジャー」が88.7%で最も高かった。（問17）
- ・郡山中央スマートICを知っている方のうち、実際利用された方は全体の54.2%であった。（問19）
- ・郡山中央スマートICの主な利用目的は「レジャー」が82.1%で最も高かった。（問20）
- ・利用された方のうち、郡山中央スマートICの開通により移動が便利になったと感じる方は全体の60.1%であった。（問21）

【考察】

- ・公共交通等を利用する際の主な目的は、ほとんどがレジャーであった。また、タクシーにおいては懇親会等での利用が一番多かったが、路線バス・鉄道（在来線）においてもその他の意見として、懇親会等で利用する意見が挙がった。利用する交通手段が変わっても、この傾向はほとんど変わらないことから、利用者は目的だけに縛られず、その時の場面に適した交通手段を選択していると考えられる。
- ・鉄道においては、利用頻度は「年に数回程度」、利用目的は「レジャー」が最も割合が高いことから、市内移動ではなく旅行等での市外への移動に主に利用されているものと推測される。

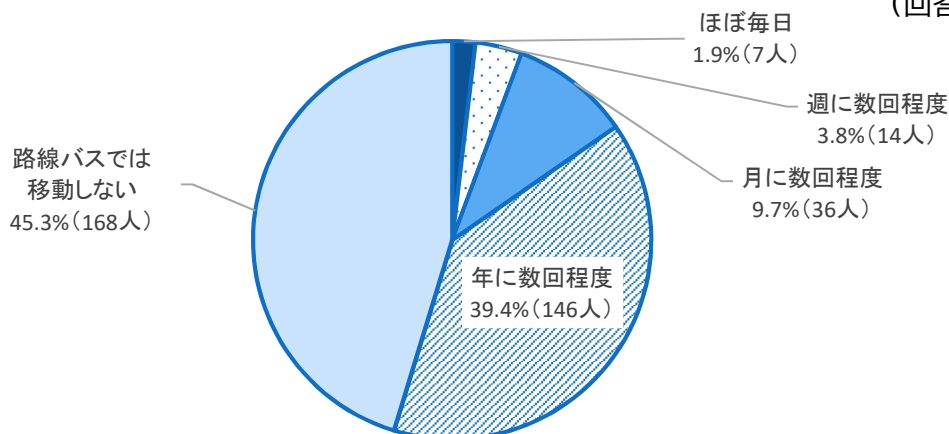
- ・乗合タクシーにおいては認知度が低く、特に運行区域である三穂田、喜久田、田村地区でも「知っている」割合は半数以下であり、更なる周知が必要である。
- ・利用する主なインターチェンジは、旧市内においては大きな偏りはなく、市内のICをバランスよく利用している。一方で旧市内以外の地区においては、最寄りのICを利用している。
- ・郡山中央スマートICの認知度については10～20代が最も低かったため、若い世代をターゲットに利用促進を周知していくことが効果的と思われる。

※ 構成比は、端数を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

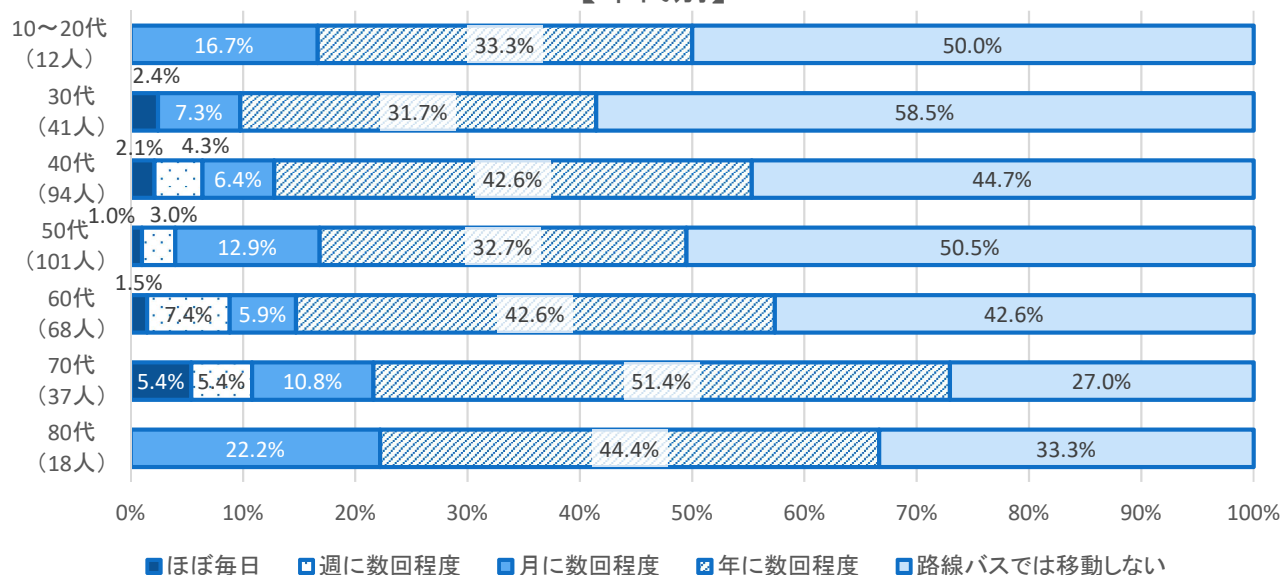
第1章 公共交通等での移動について

問1 あなたはどのくらいの頻度で路線バスを利用しますか。（1つ選択）

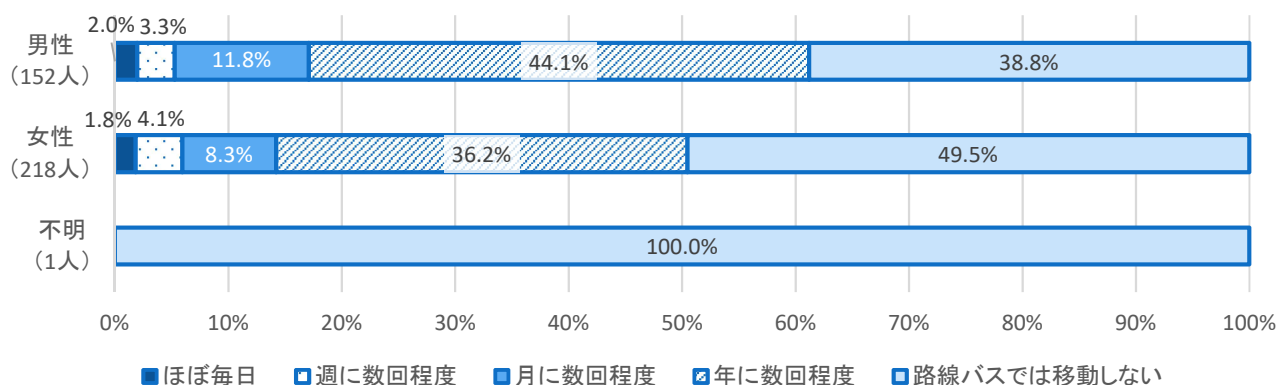
（回答者：371人）



【年代別】



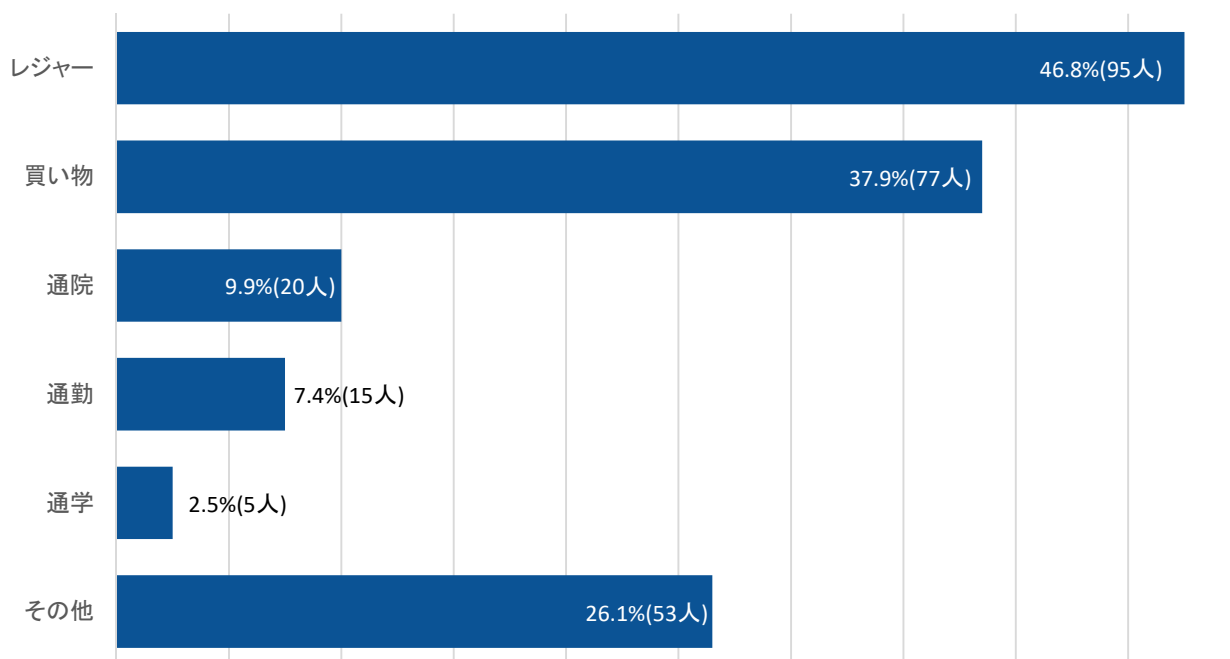
【性別】



路線バスを利用して移動する方は、全体の54.8%であった。その内「年に数回程度」が39.4%で最も高く、次いで「月に数回程度」が9.7%であった。また、「路線バスでは移動しない」は45.3%であった。
年代別で見ると、60代以上においては利用している割合が半数以上となっており、高齢層での利用頻度が多い傾向にある。

問2 あなたは主にどのような場面で路線バスを利用しますか。（複数選択可）

（回答者：203人）



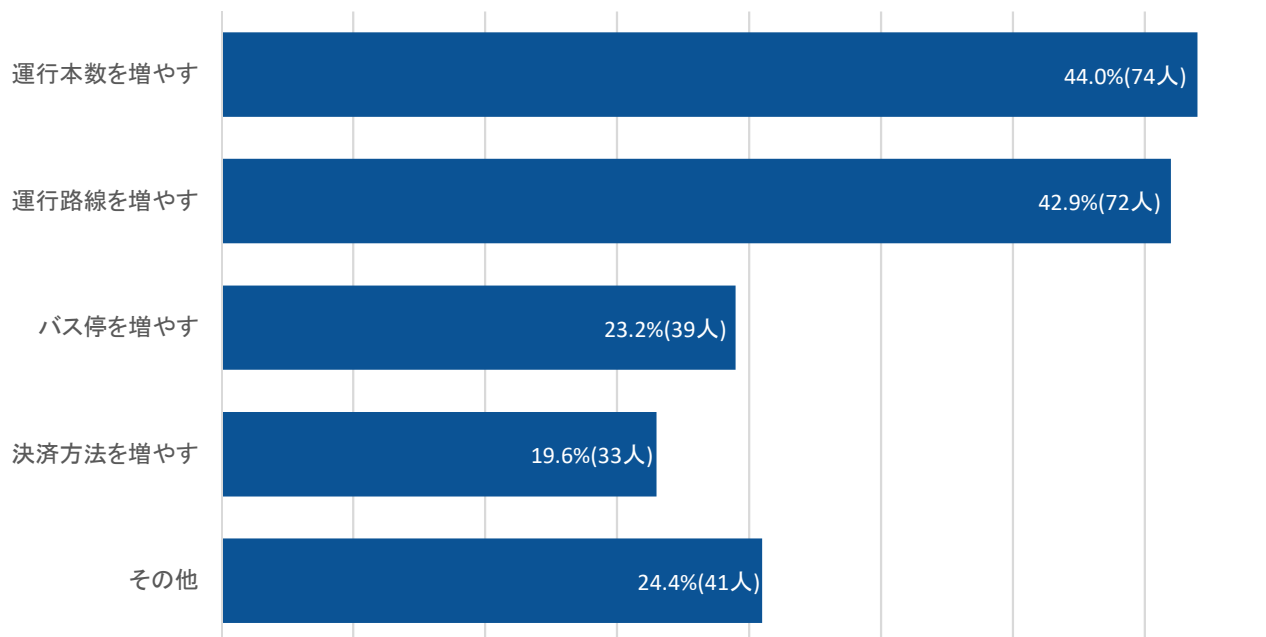
※「その他」を選択した方の主な意見

- ・飲み会
- ・駅周辺での用事
- ・駐車場がないとき
- ・出張
- ・ボランティア など

路線バスの利用目的として「レジャー」が46.8%と最も高く、次いで買い物が37.9%であった。
その他の主な意見としては「飲み会」や「駅周辺での用事」、「駐車場がないとき」などが挙げられた。

問3 問1で「路線バスでは移動しない」と回答された方に伺います。今後どのようにすれば路線バスで移動したいと思いますか。（複数選択可）

（回答者：168人）



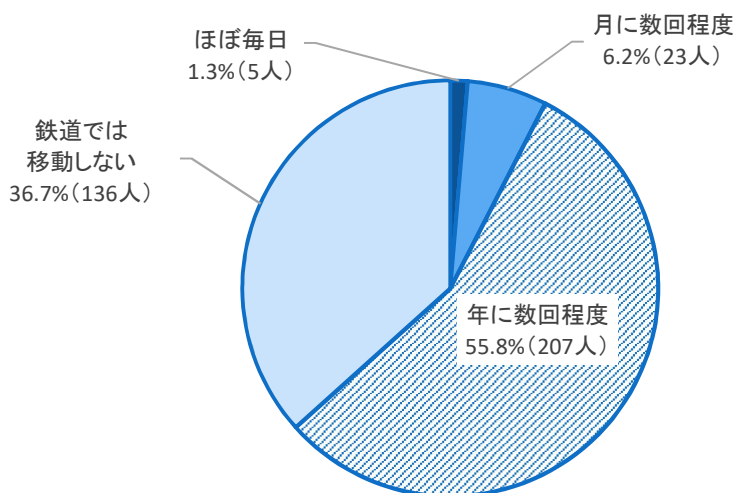
※「その他」を選択した方の主な意見

- ・運賃を安くする
- ・時刻表通りの運行
- ・ポイントやスタンプなどの楽しめるもの など

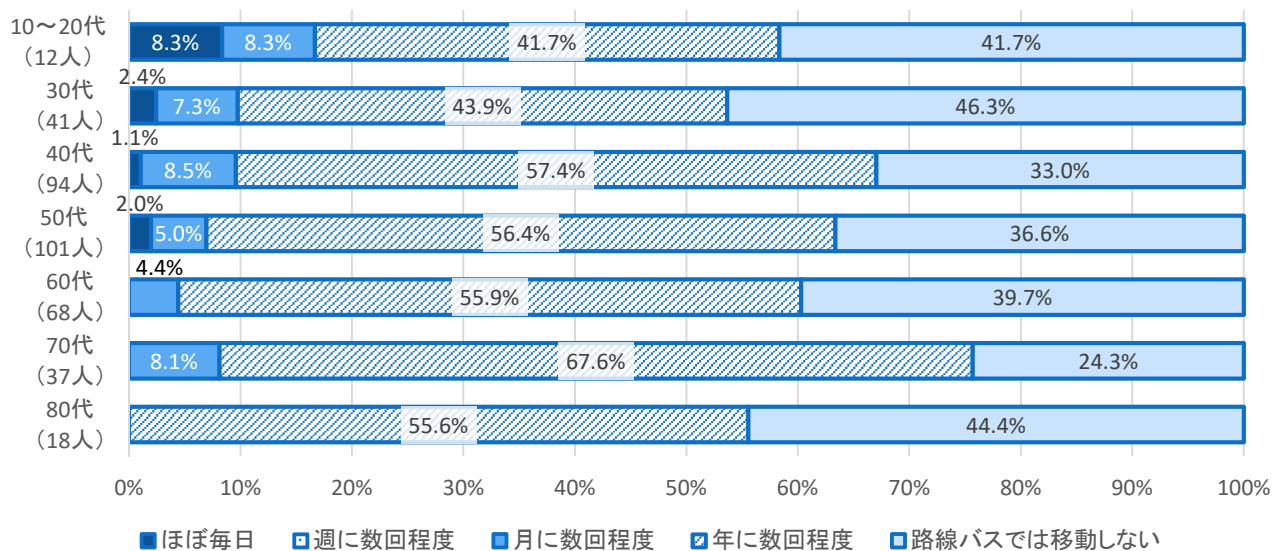
「路線バスでは移動しない」と回答された方に、今後どのようにすれば路線バスで移動したいと思えるか伺ったところ、「運行本数を増やす」が44.0%、次いで「運行路線を増やす」が42.9%であった。
その他の主な意見としては「運賃を安くする」や「時刻表通りの運行」、「ポイントやスタンプなどの楽しめるようなもの」などが挙げられた。

問4 あなたはどのくらいの頻度で鉄道（在来線）を利用しますか。（1つ選択）

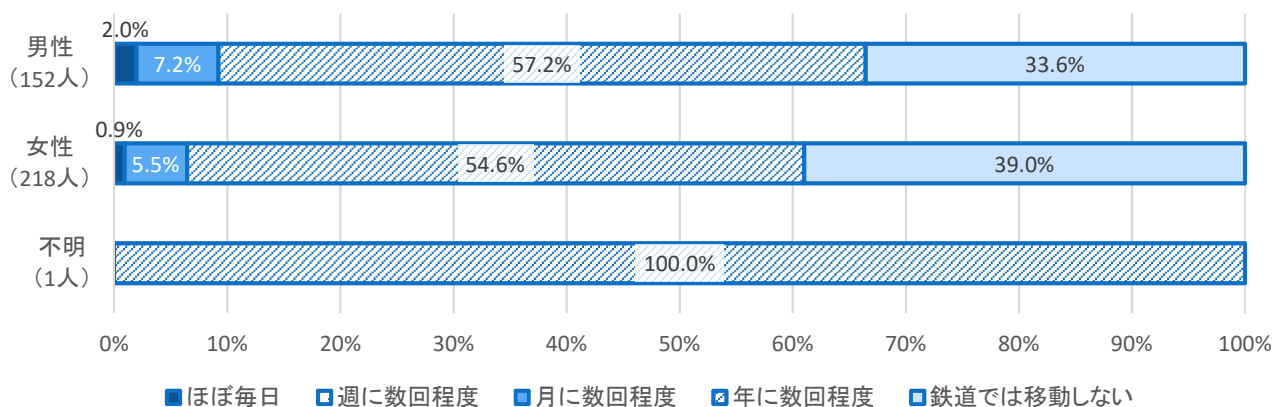
（回答者：371人）



【年代別】



【性別】

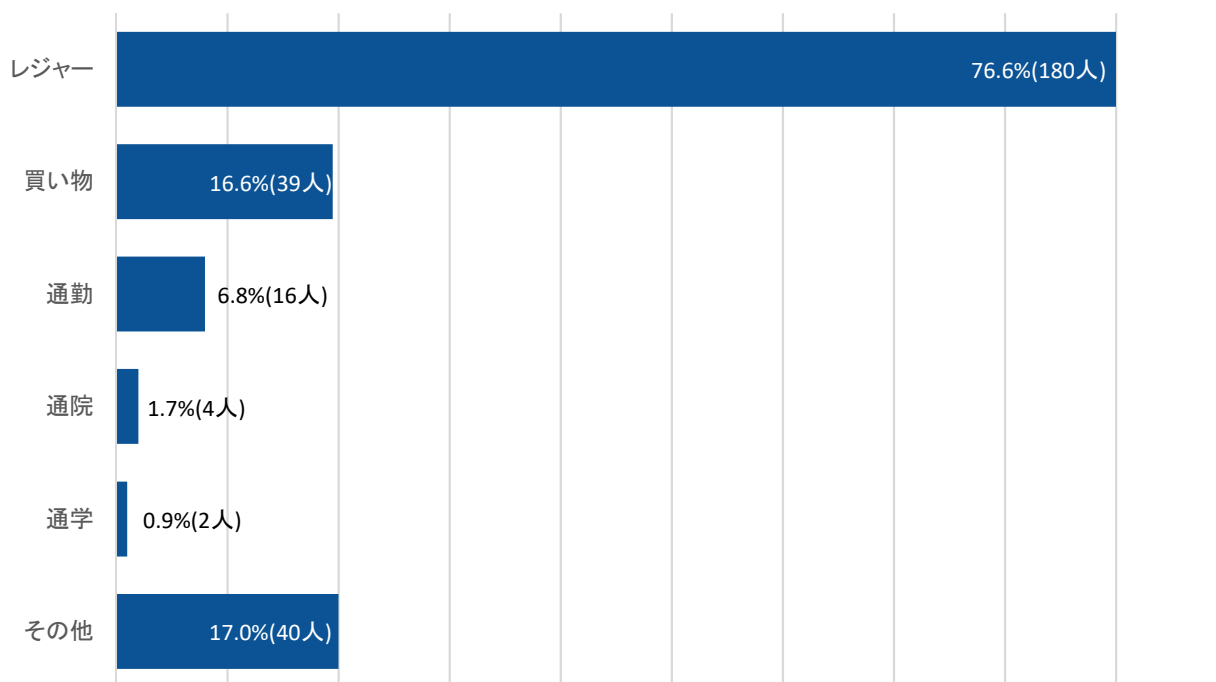


鉄道（在来線）を利用して移動する方は、全体の63.3%であった。その内「年に数回程度」が55.8%で最も高く、次いで「月に数回程度」が6.2%であった。また、「鉄道では移動しない」は36.7%であった。

年代別で見ると、70代においては利用者の割合が75.7%で最も高く、そのほかの各年代においても利用者の割合は半数以上となっており、年代による大きな差は見られなかった。

問5 あなたは主にどのような場面で鉄道（在来線）を利用しますか。（複数選択可）

（回答者：235人）



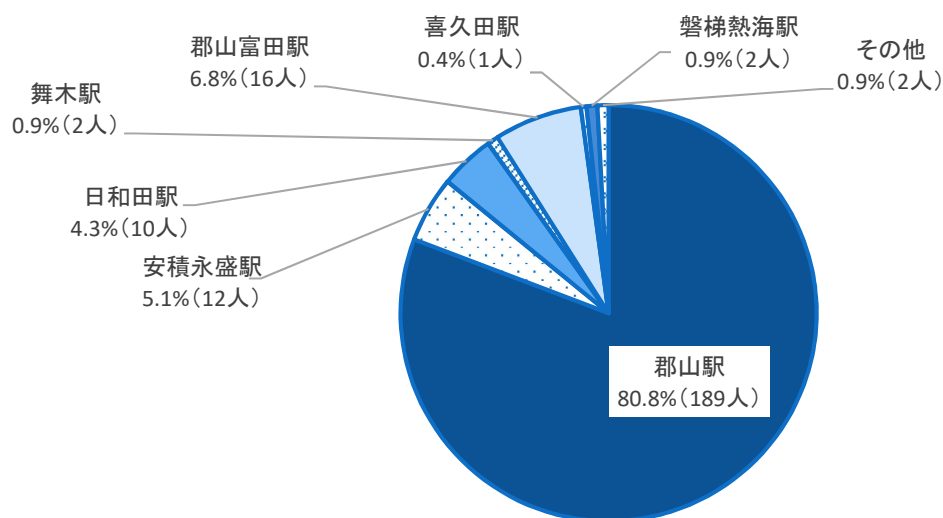
※「その他」を選択した方の主な意見

- ・飲み会
- ・出張
- ・帰省
- ・冠婚葬祭
- ・観光列車 など

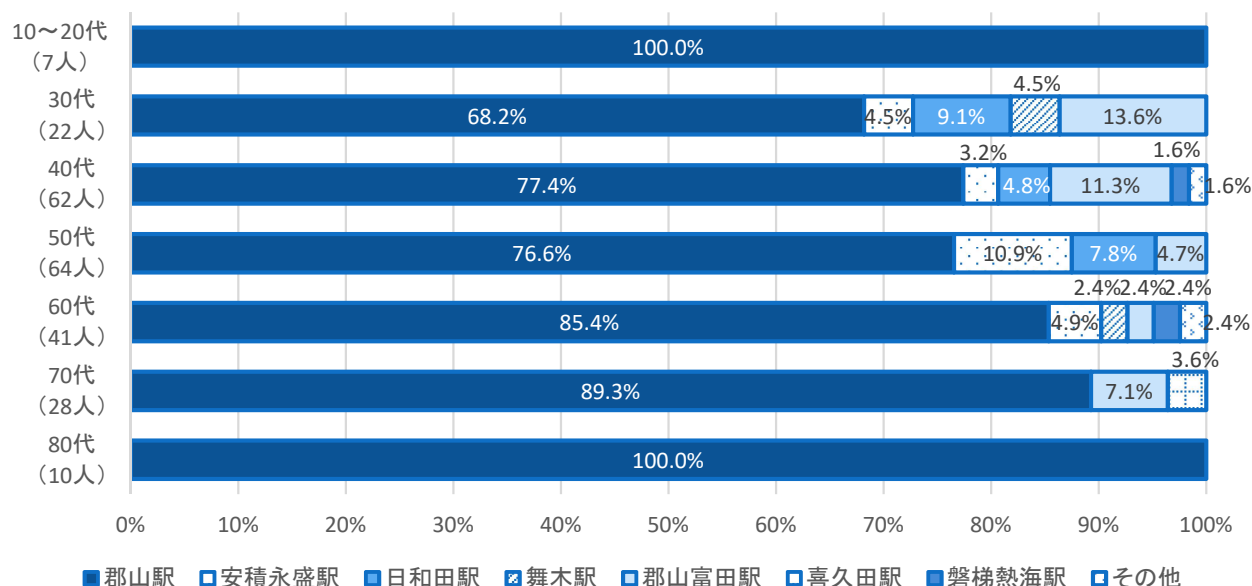
鉄道（在来線）の利用目的として「レジャー」が76.6%と最も高く、次いで「買い物」が16.6%となっており、圧倒的にレジャーによる利用が多いことがわかる。その他の主な意見としては「飲み会」や「出張」、「帰省」などが挙げられた。

問6 あなたが主に利用する駅はどこですか。（1つ選択）

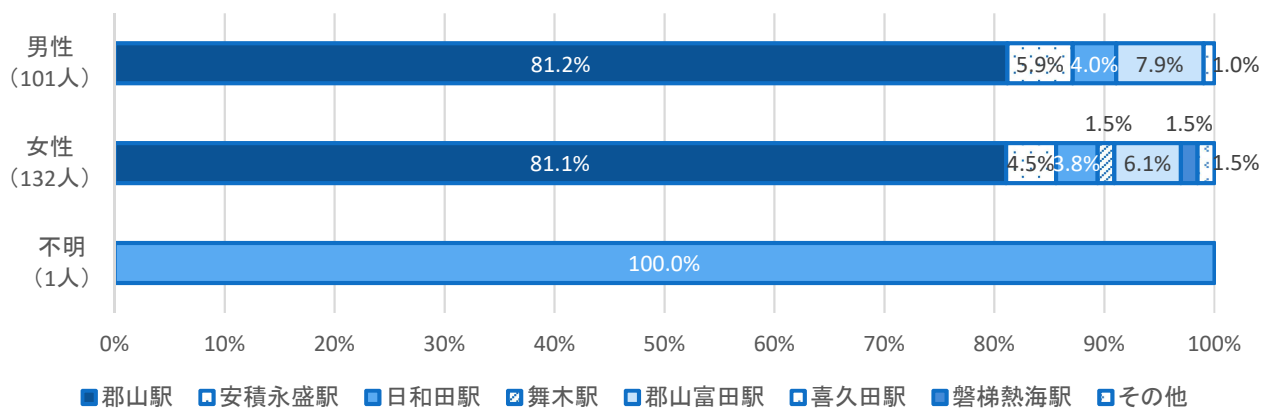
(回答者：234人)
(無回答：1人)



【年代別】



【性別】



※「その他」を選択した方の主な意見

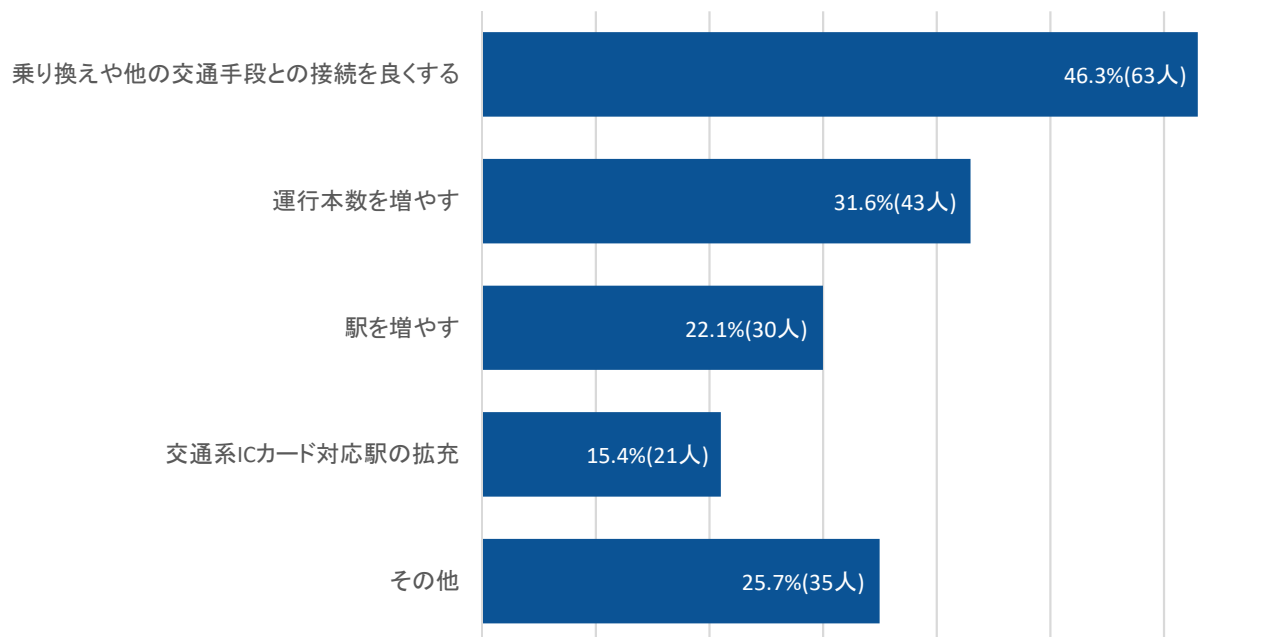
- ・会津若松駅
- ・本宮駅

	駅名	乗車人員（人）	年度	備考
1	郡山駅	12,429	2021	JR東日本ウェブサイト
2	安積永盛駅	2,137	2021	JR東日本ウェブサイト
3	日和田駅	496	2021	市独自調査
4	舞木駅	212	2021	市独自調査
5	郡山富田駅	714	2021	市独自調査
6	喜久田駅	178	2021	市独自調査
7	磐梯熱海駅	172	2021	JR東日本ウェブサイト
8	安子ヶ島駅	57	2021	市独自調査
9	中山宿駅	5	2021	市独自調査
10	磐城守山駅	66	2021	市独自調査
11	谷田川駅	36	2021	市独自調査

主に利用する駅として「郡山駅」が80.8%と最も高い。そのほか利用が多い順に「郡山富田駅」が6.8%、「安積永盛駅」が5.1%であった。各駅の利用の傾向においては、参考データの市内11駅の乗車人員の傾向と概ね一致している。

問7 問4で「鉄道では移動しない」と回答された方に伺います。今後どのようにすれば鉄道で移動したいと思いますか。（複数選択可）

（回答者：136人）



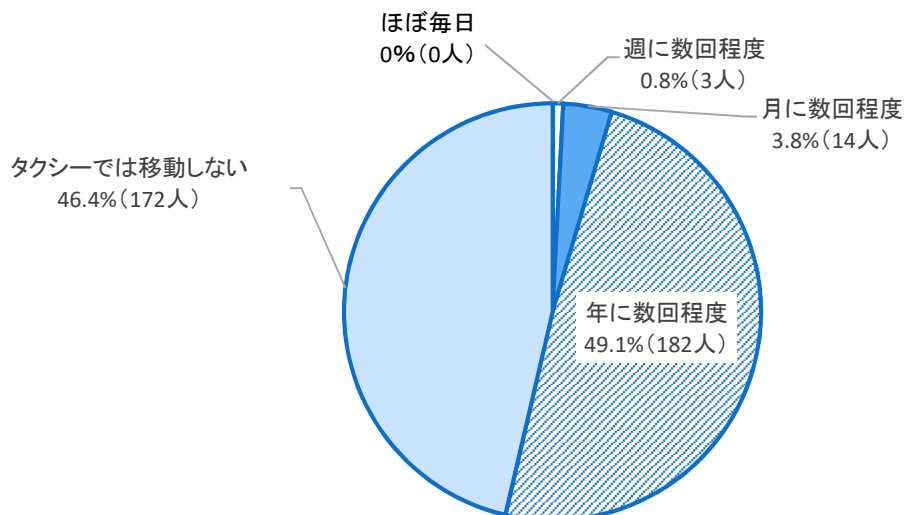
※「その他」を選択した方の主な意見

- ・ 駅周辺の駐車場の整備
- ・ 子供が飽きない仕様や、騒いでも大丈夫な環境
- ・ すべての駅で身体障害者が利用しやすい駅 など

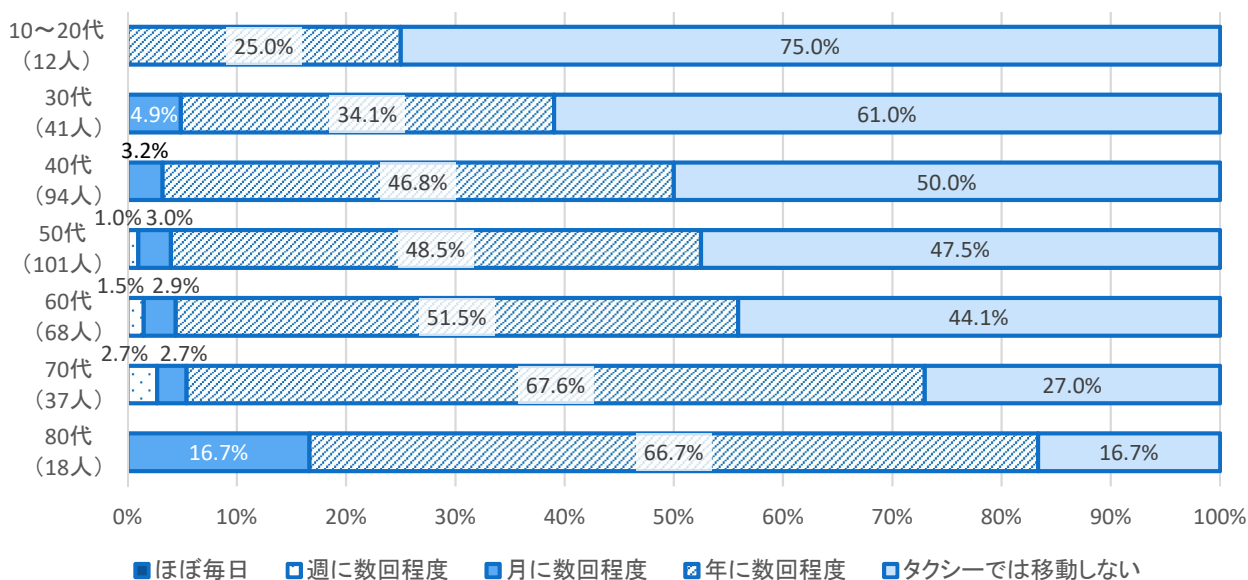
「鉄道では移動しない」と回答された方に、今後どのようにすれば鉄道で移動したいと思えるか伺ったところ、「乗り換えや他の交通手段との接続を良くする」が46.3%、次いで「運行本数を増やす」が31.6%であった。
その他の主な意見としては「駅周辺の駐車場の整備」や「子供が飽きない仕様や、騒いでも大丈夫な環境」、「すべての駅で身体障害者が利用しやすい駅」などが挙げられた。

問8 あなたはどのくらいの頻度でタクシーを利用しますか。（1つ選択）

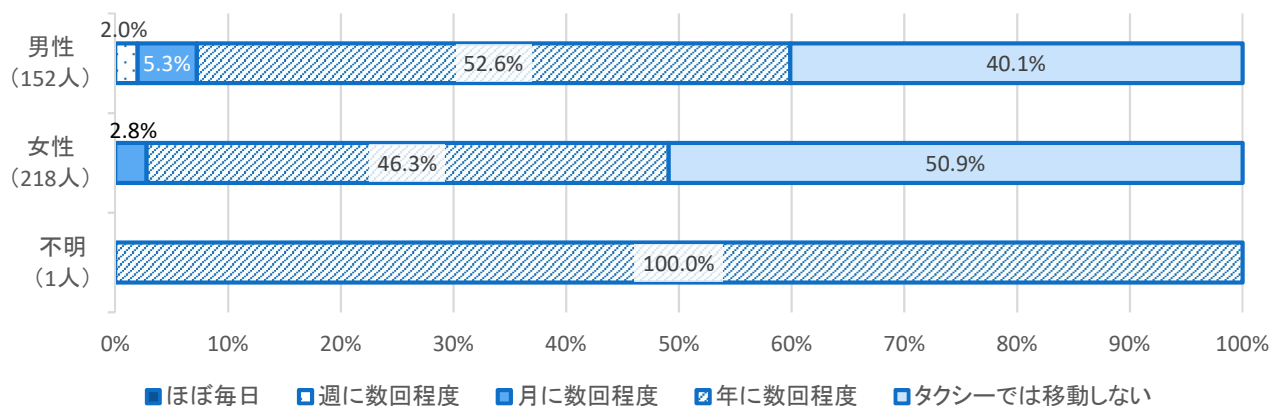
（回答者：371人）



【年代別】



【性別】

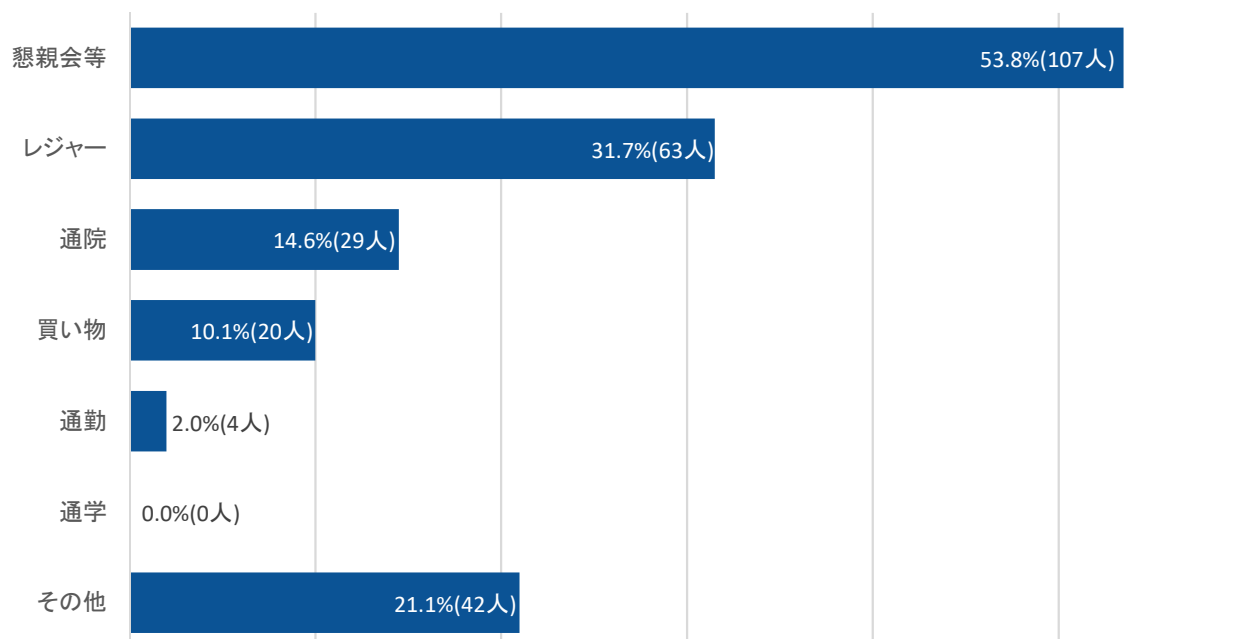


タクシーを利用して移動する方は、全体の53.7%であった。その内「年に数回程度」が49.1%で最も高く、次いで「月に数回程度」が3.8%であった。また、「タクシーでは移動しない」は46.4%であった。

年代別で見ると、年代が上がるにつれて、タクシー利用者の割合が高くなる傾向にあり、80代においては83.4%で最も高く、10～20代においては25.0%と最も低い。

問9 あなたは主にどのような場面でタクシーを利用しますか。（複数選択可）

（回答者：199人）



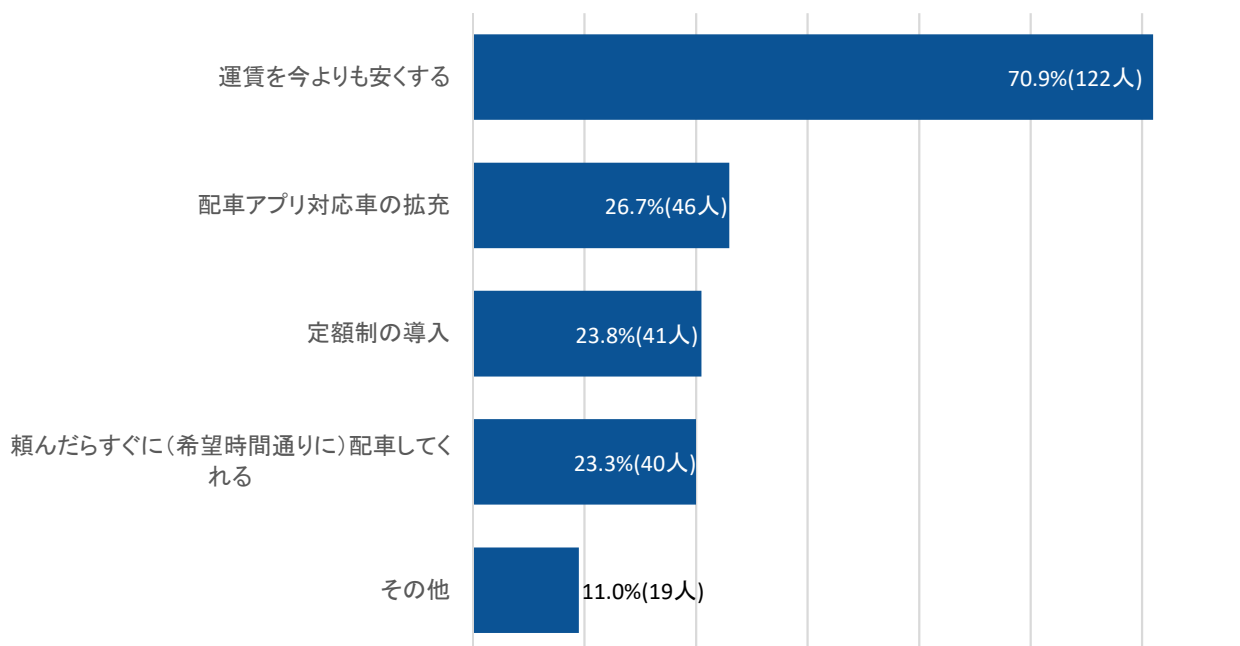
※「その他」を選択した方の主な意見

- 会社の出張
- バスが走っていない時間の移動
- 荷物が多い時の移動
- 駅を利用するとき
- バスに乗り遅れた時 など

タクシーの利用目的として「懇親会等」が53.8%と最も高く、次いで「レジャー」が31.7%となっている。
その他の主な意見としては「会社の出張」や「バスが走っていない時間の移動」、「荷物が多いときの移動」などが挙げられた。

問10 問8で「タクシーでは移動しない」と回答された方に伺います。今後どのようにすればタクシーで移動したいと思いますか。（複数選択可）

（回答者：172人）



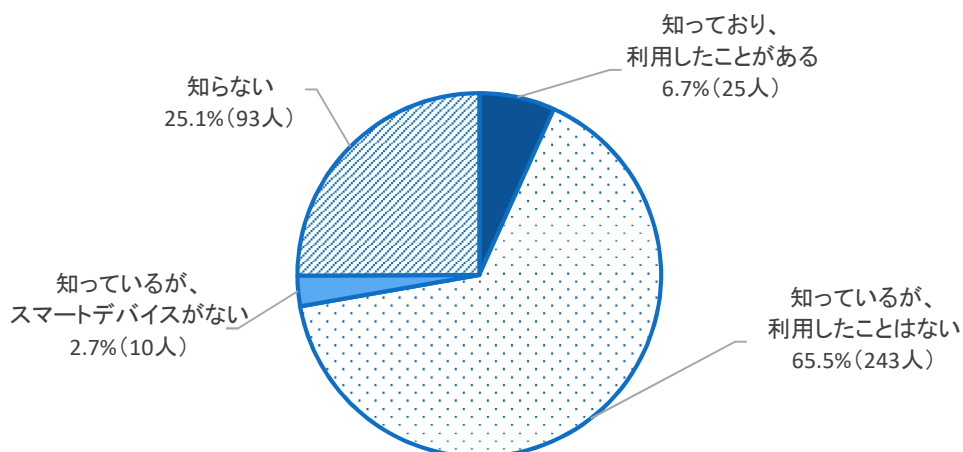
※「その他」を選択した方の主な意見

- ・自分で運転できなくなった時
- ・乗務員の運転マナーの向上
- ・色々な会社に電話しなくても良いように、配車を管理する会社があると良い など

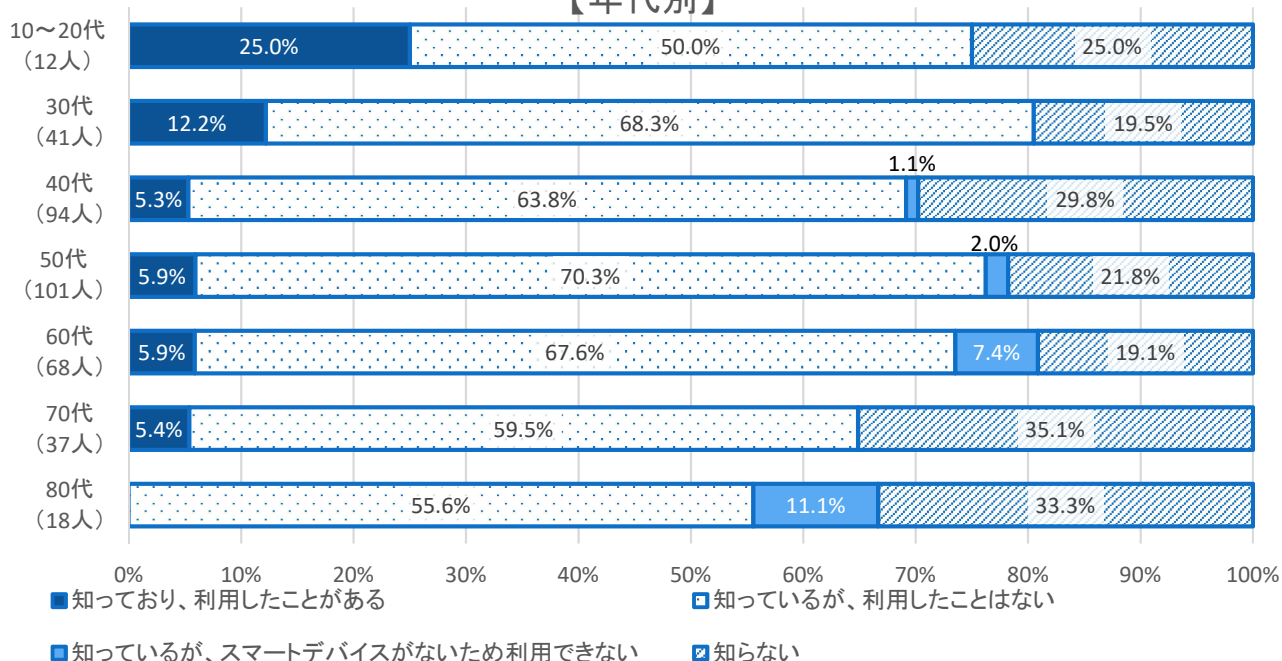
「タクシーでは移動しない」と回答された方に、今後どのようにすればタクシーで移動したいと思えるか伺ったところ、「運賃を今よりも安くする」が70.9%と最も高く、次いで「配車アプリ対応車の拡充」が26.7%となっており、運賃に対する意見の割合がとても高いことがわかる。
その他の主な意見としては「自分で運転できなくなった時」や「乗務員の運転マナーの向上」、「色々な会社に電話しなくても良いように、配車を管理する会社があると良い」などが挙げられた。

問11 あなたはスマートフォンやタブレット（以下、スマートデバイス）を利用したタクシー配車アプリを知っていますか。また、利用したことはありますか。（1つ選択）

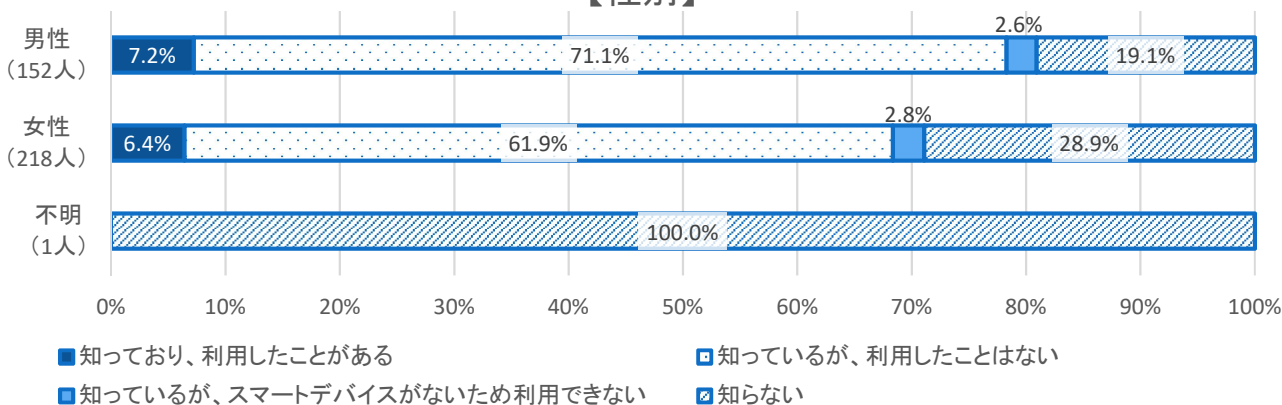
（回答者：371人）



【年代別】



【性別】

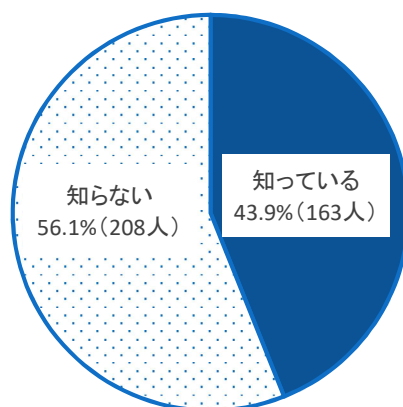


タクシーの配車アプリについて、74.9%が「知っており、利用したことがある」、「知っているが、利用したことはない」、「知っているが、スマートデバイスを持っていない」のいずれかを選択しており、認知度が高いことがわかる。しかし、実際に利用した人は6.7%と利用率はとても低い。

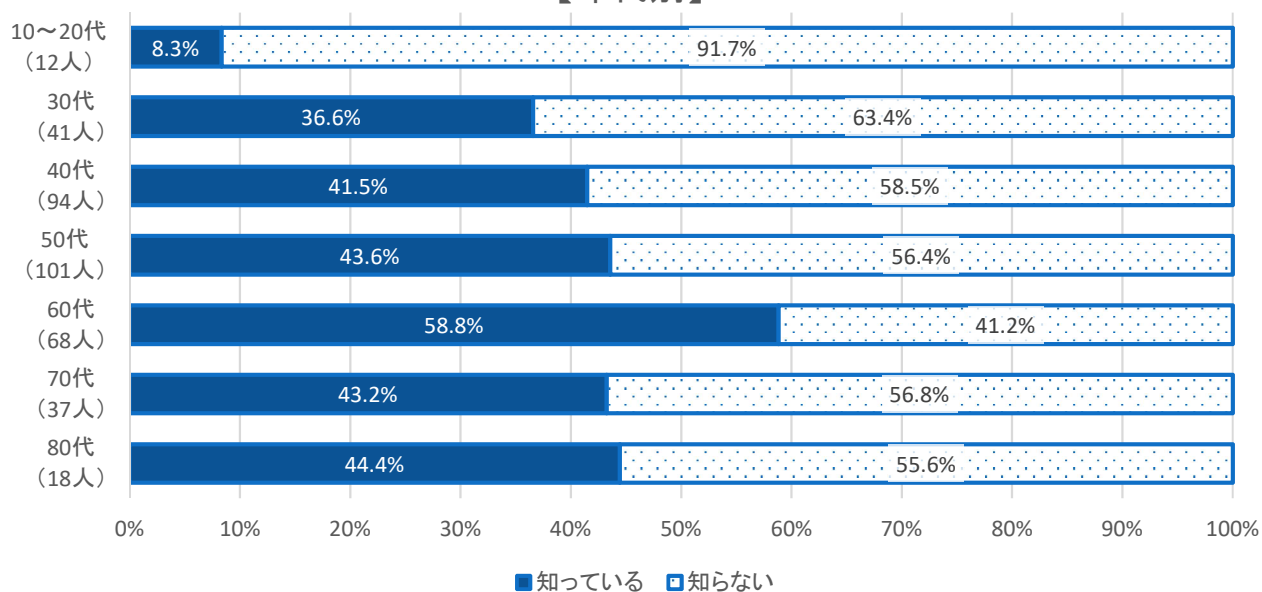
年代別で見ると、どの年代でも約6割以上の方が配車アプリについて認知している。

問12 あなたは市郊外部で運行している「乗合タクシー」を知っていますか。（1つ選択）

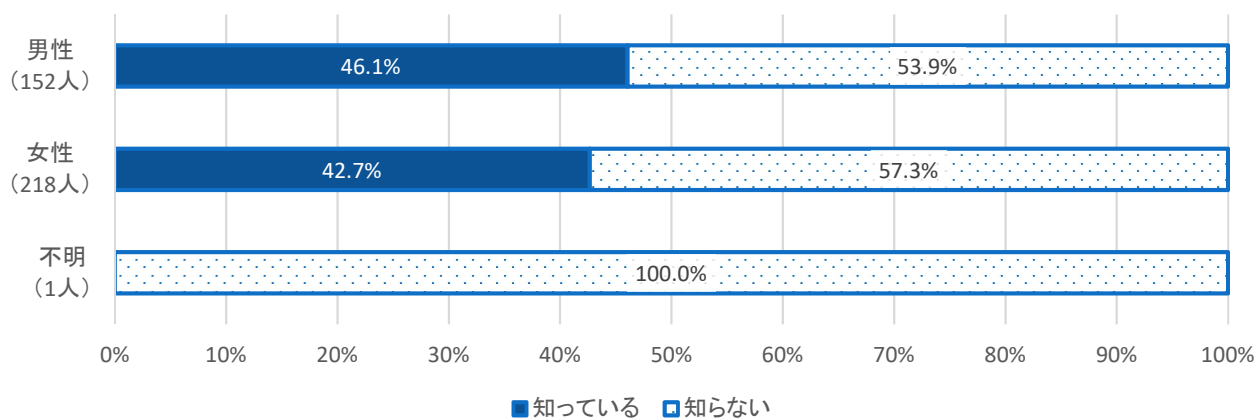
（回答者：371人）

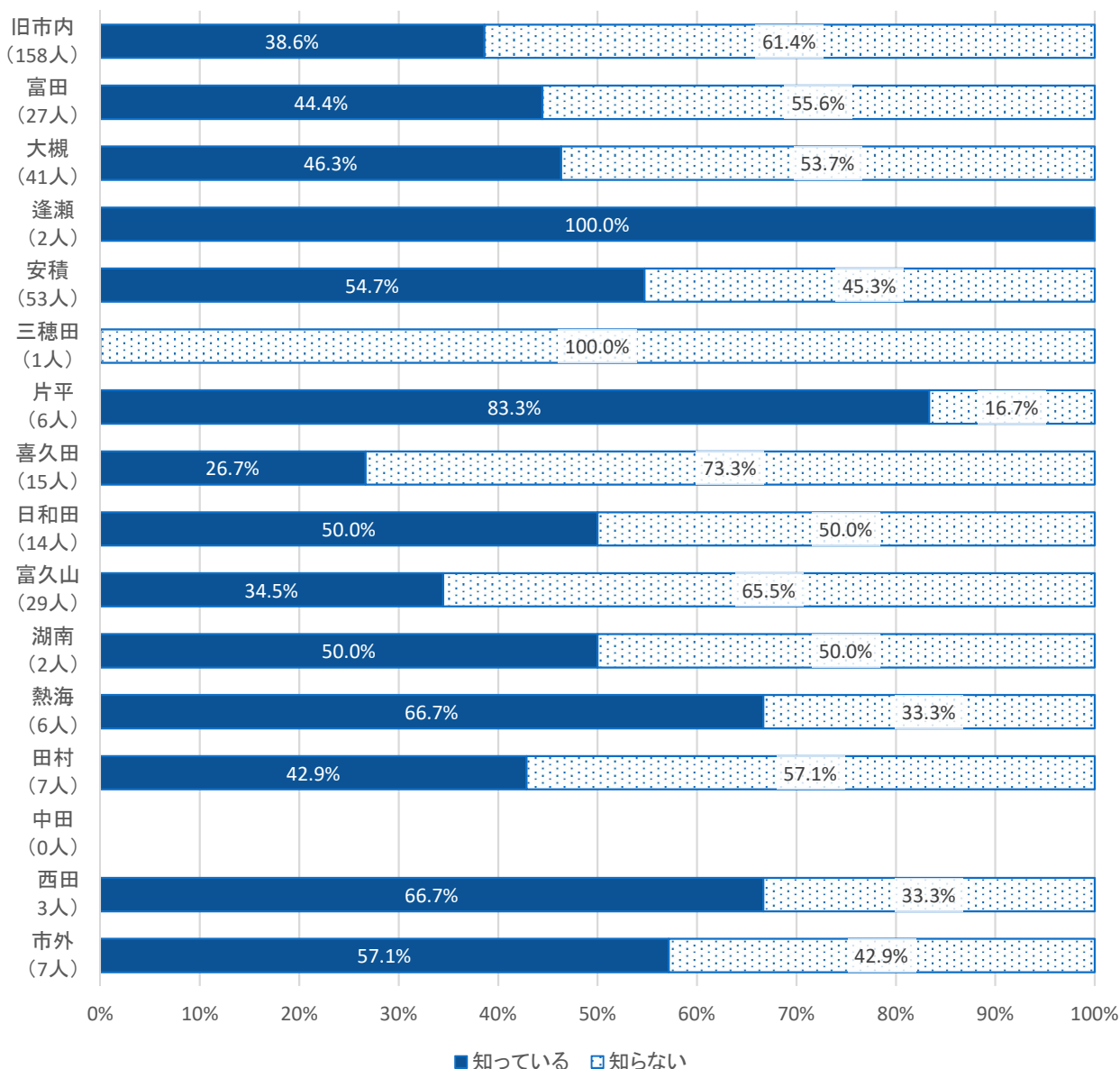


【年代別】



【性別】



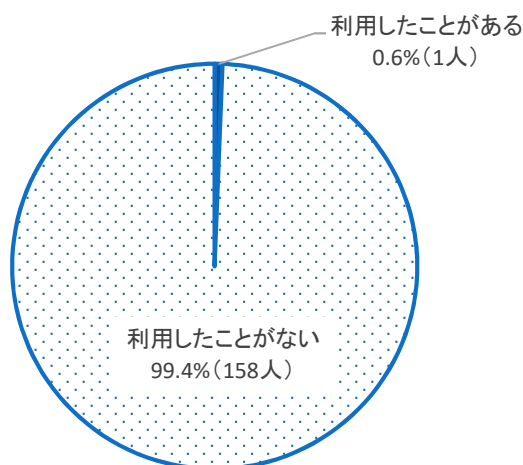


乗合タクシーの認知度について、全体の43.9%が「知っている」と回答した。
 年代別では、60代の58.8%が最も高く、10～20代の8.3%が最も低い。
 性別で見ると、男性が46.1%、女性が42.7%と大きな差はなかった。
 地区別で見ると、「知っている」は逢瀬が100%と最も高く、喜久田が26.7%と最も低い。
 また、運行区域である三穂田、喜久田、日和田、田村地区においては「知っている」割合が半数以下であり、更なる周知が必要である。

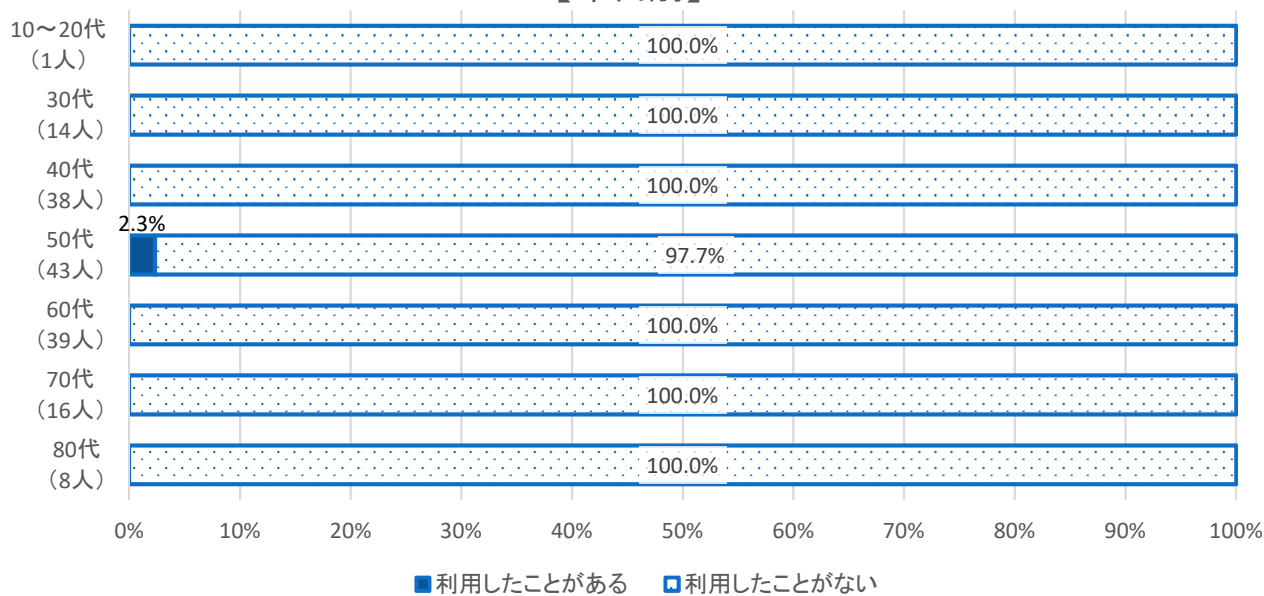
問13 問12で「知っている」と回答された方に伺います。あなたは、市郊外部で運行している「乗合タクシー」を利用したことがありますか。（1つ選択）

（回答者： 159人）

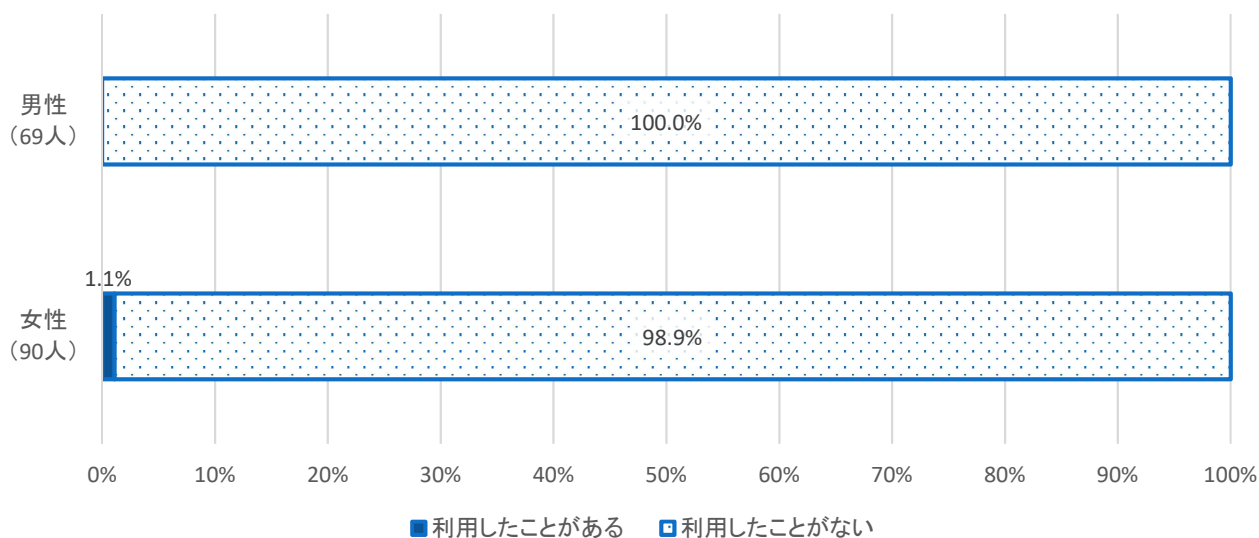
（無回答： 4人）



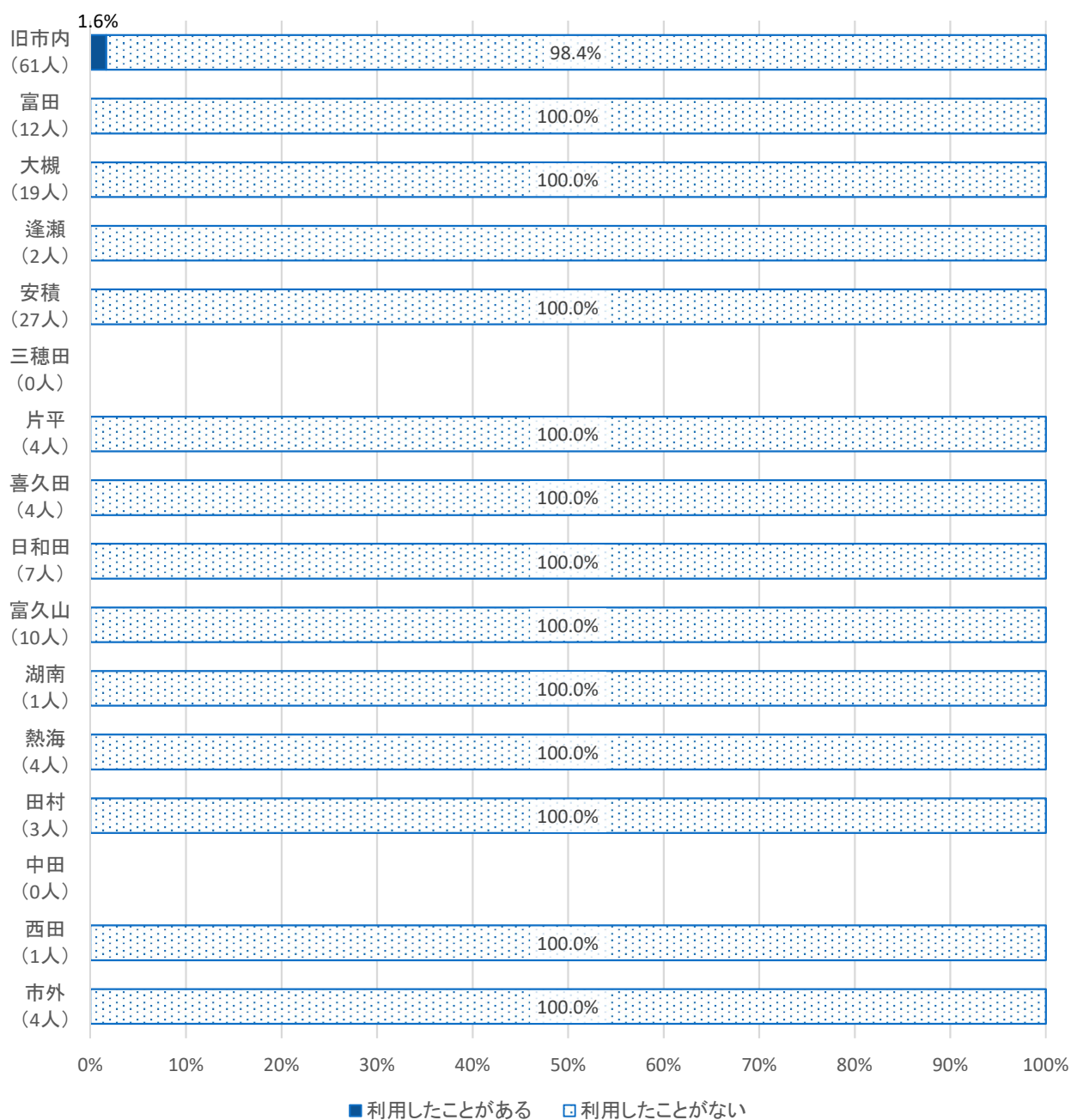
【年代別】



【性別】



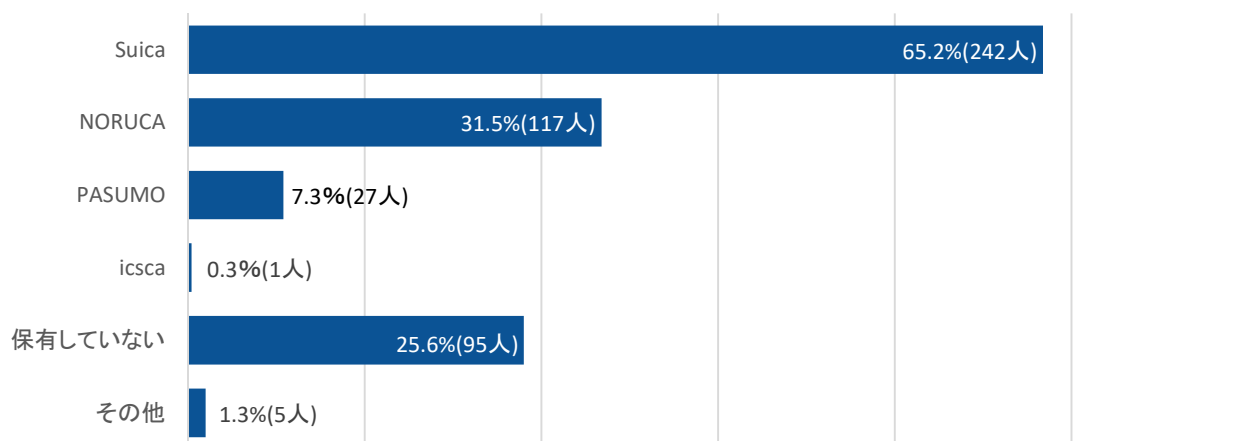
※参考：回答者地区別内訳



乗合タクシーの利用について、全体の0.6%が「利用したことがある」と回答した。
地区別で見ると、旧市内にお住まいの方が利用していた。
この結果から、市内全体的に乗合タクシーの利用率は低いことがわかる。

問14 あなたの持っている交通系ＩＣカードを教えてください。（複数選択可）

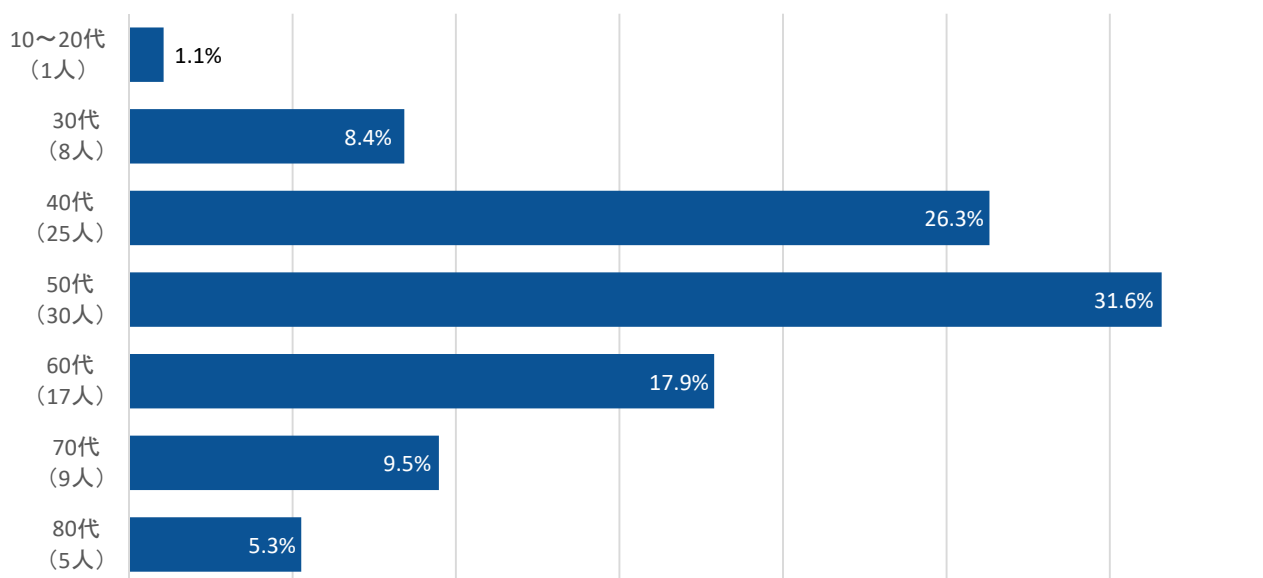
（回答者： 371人）



※「その他」を選択した方の主な意見

- ・ピタパ（スルッと関西）

※参考：「保有していない」回答者の年代別内訳

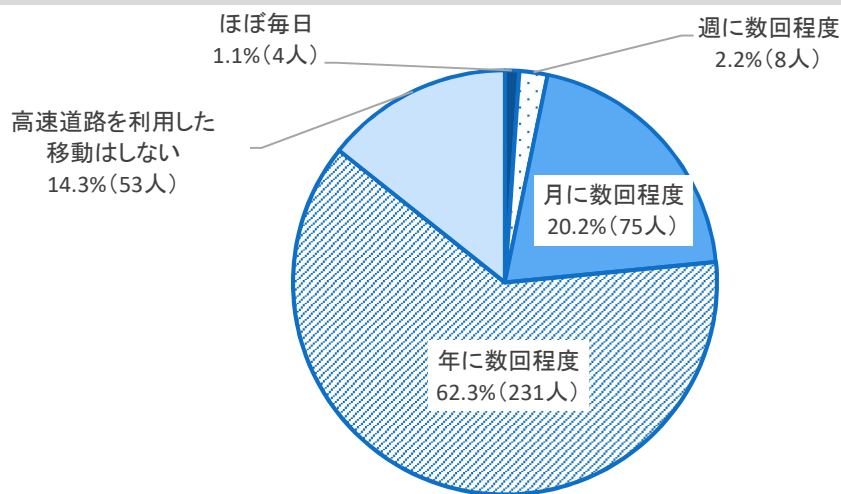


所有している交通系ICカードの種類としては、「Suica」が65.2%と最も高く、次いで「NORUCA」が31.5%であった。
「保有していない」と回答した方を年代別で見ると、40代～50代において保有していない人が多い傾向にある。

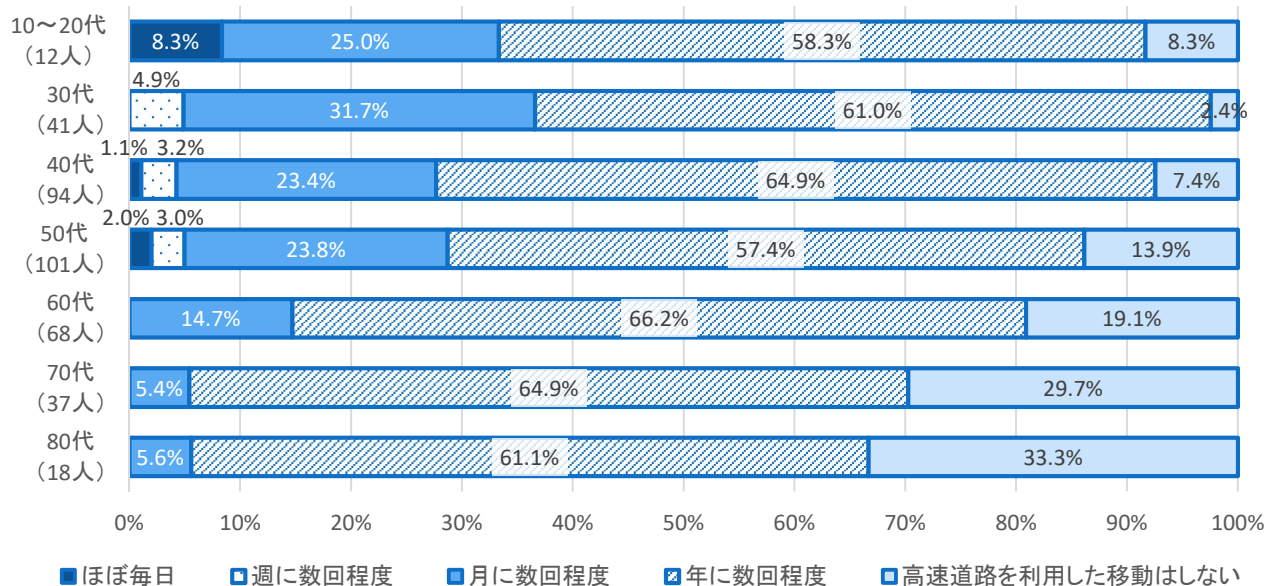
第2章 高速道路での移動について

問15 あなたはどのくらいの頻度で高速道路を利用しますか。（1つ選択）

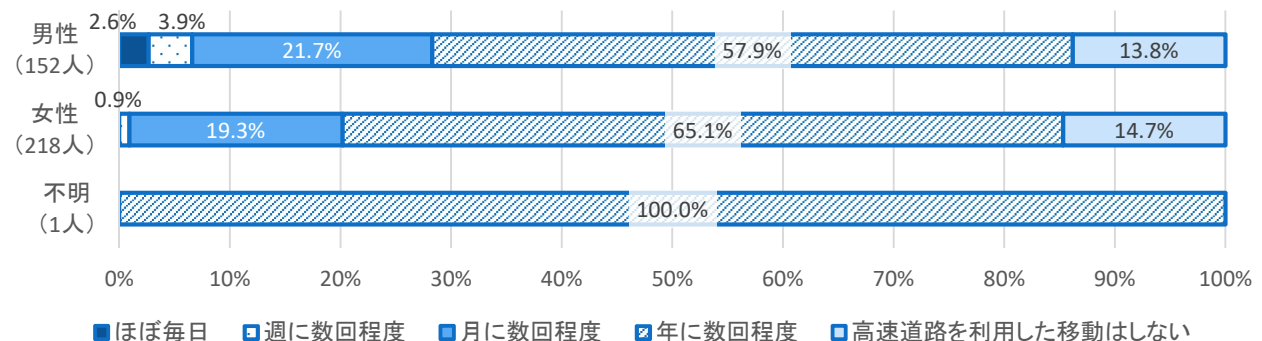
（回答者：371人）



【年代別】



【性別】



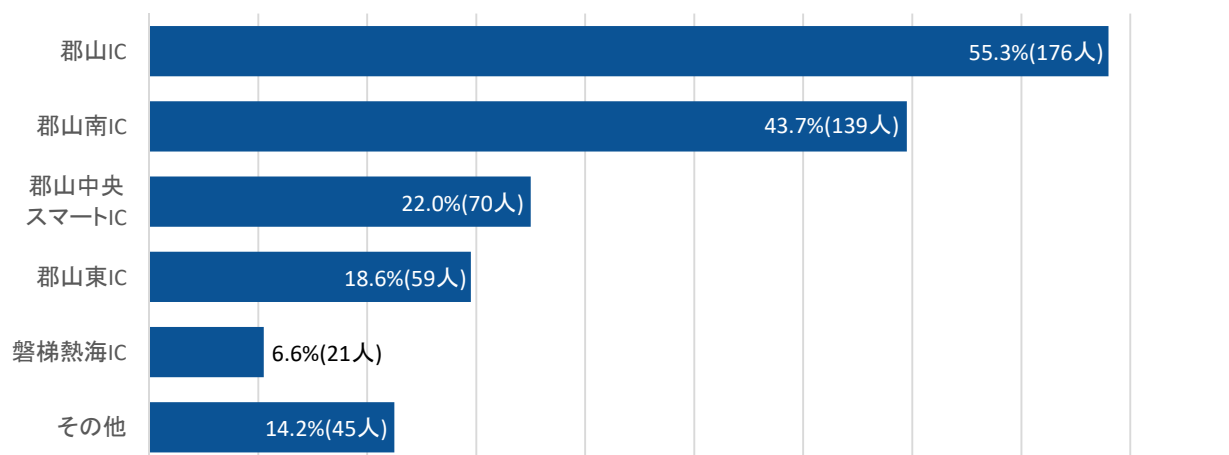
高速道路の利用頻度について、「年に数回程度」が62.3%で最も高く、次いで「月に数回程度」が20.2%であった。また、「高速道路を利用した移動はしない」が14.3%であった。

年代別で見ると、年代が上がるにつれて、利用頻度が低くなっていく傾向にある。

性別で見ると、高速道路の利用は男性が86.1%、女性が85.3%と大きな差は見られなかった。

問16 あなたは高速道路で移動する際、主にどのインターチェンジ（以下、I C）を利用しますか。（複数選択可）

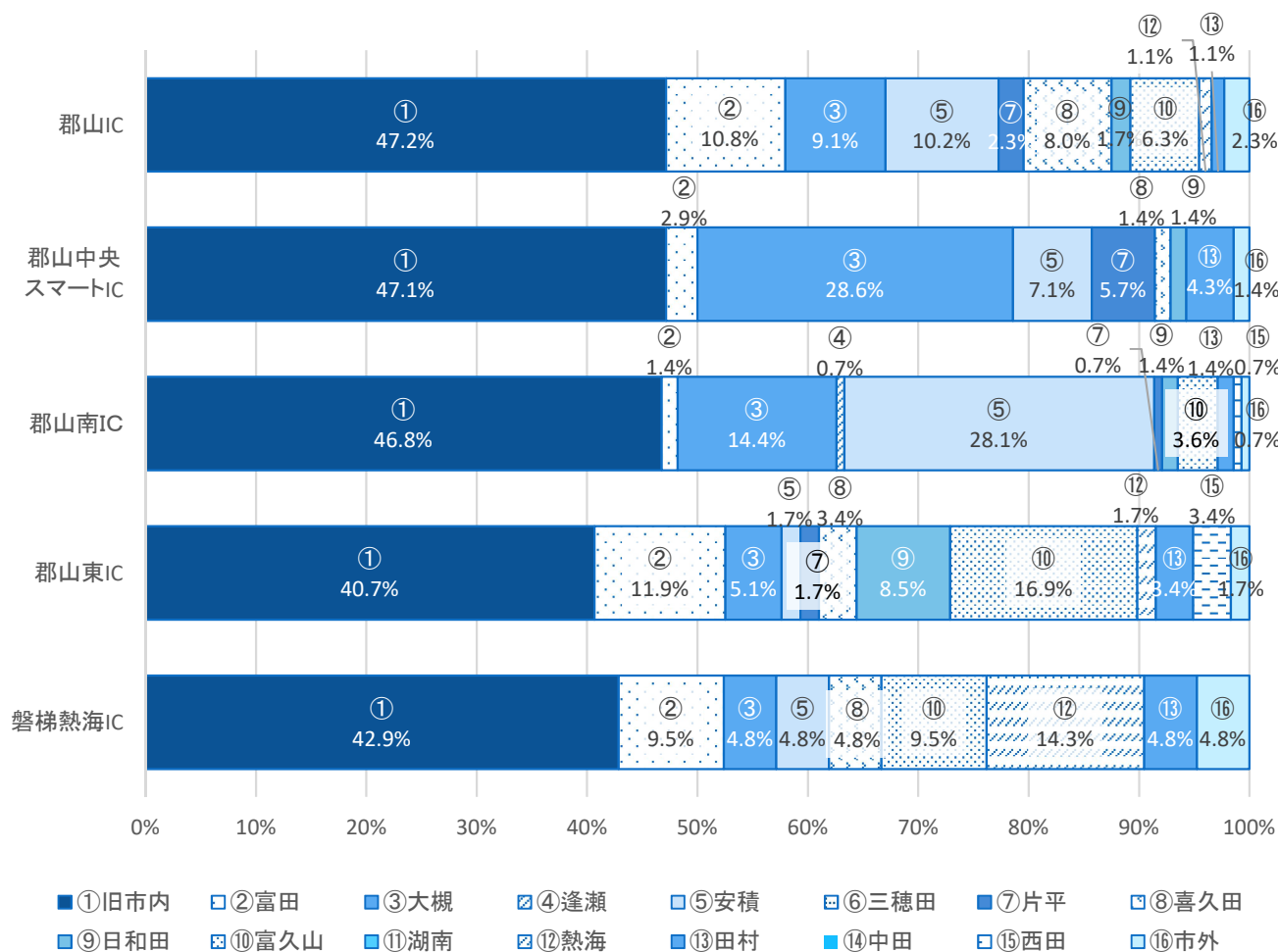
（回答者：318人）



※「その他」を選択した方の主な意見

- ・本宮 I C
- ・須賀川IC
- ・白河中央スマートIC
- ・鏡石IC
- ・矢吹IC など

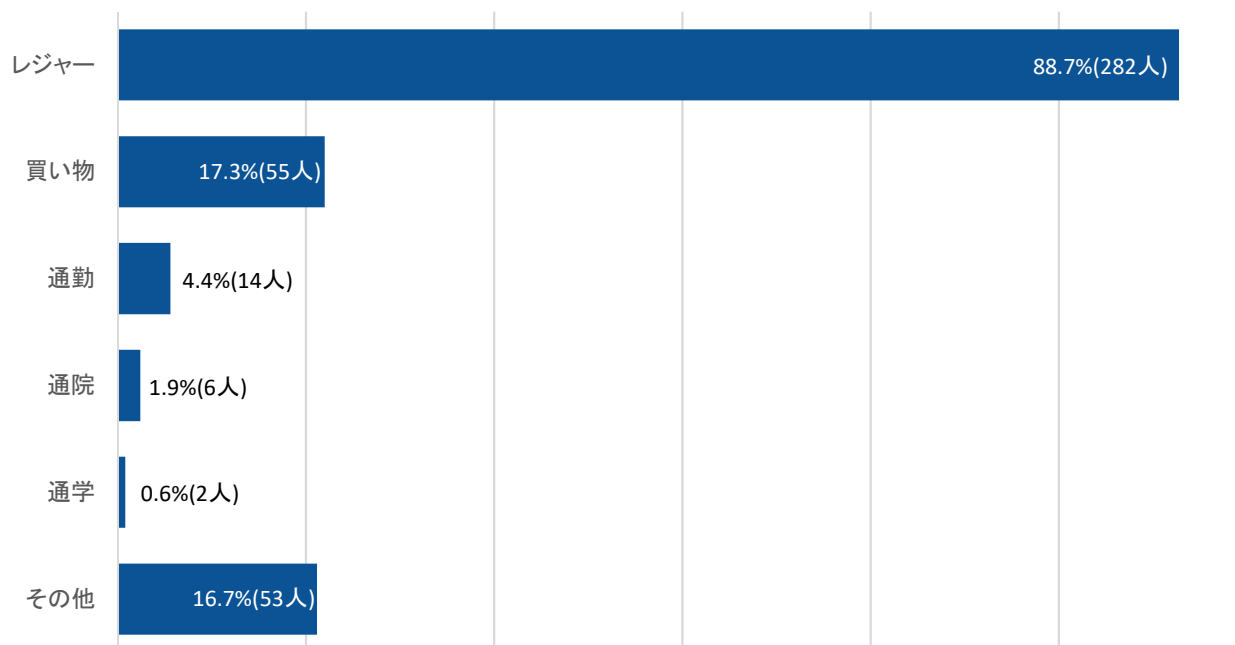
主に利用するインターチェンジとしては、「郡山IC」が55.3%と最も高く、次いで「郡山南IC」が43.7%であった。
その他の主な意見としては「本宮IC」や「須賀川IC」など市外近隣ICが挙げられた。



地区別で見ると、どのインターチェンジにおいても旧市内が4割程度と最も高く、バランスよく使われているようである。次いで「郡山IC」が富田で10.8%、「郡山中央スマートIC」が大槻で28.6%、「郡山南IC」が安積で28.1%、「郡山東IC」が富久山で16.9%、「磐梯熱海IC」が熱海で14.3%と最寄りのICを利用していることがわかる。

問17 あなたは主にどのような場面で高速道路を利用しますか。（複数選択可）

（回答者：318人）



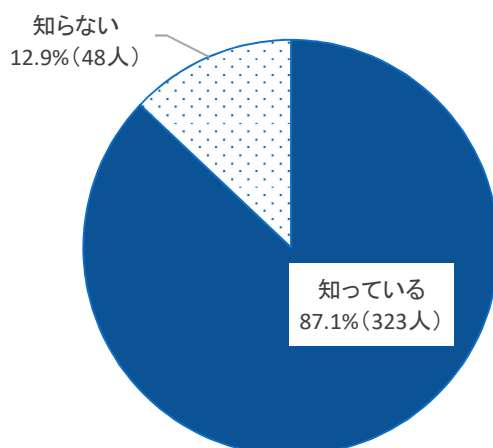
※「その他」を選択した方の主な意見

- ・帰省
- ・親戚等訪問
- ・出張
- ・送迎等
- ・緊急を要するとき など

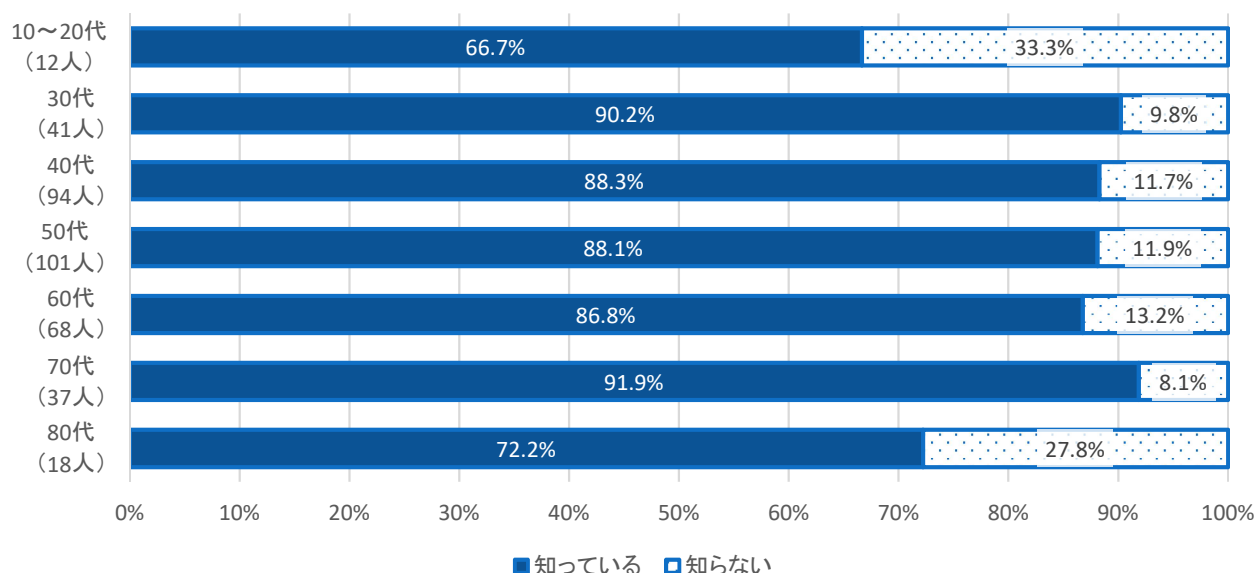
高速道路の利用目的として、「レジャー」が88.7%と最も高く、次いで「買い物」が17.3%となっており、圧倒的にレジャーによる利用が多いことがわかる。その他の主な意見としては「帰省」や「親戚等訪問」、「出張」などが挙げられた。

問18 あなたは郡山中央スマート I Cを知っていますか。（1つ選択）

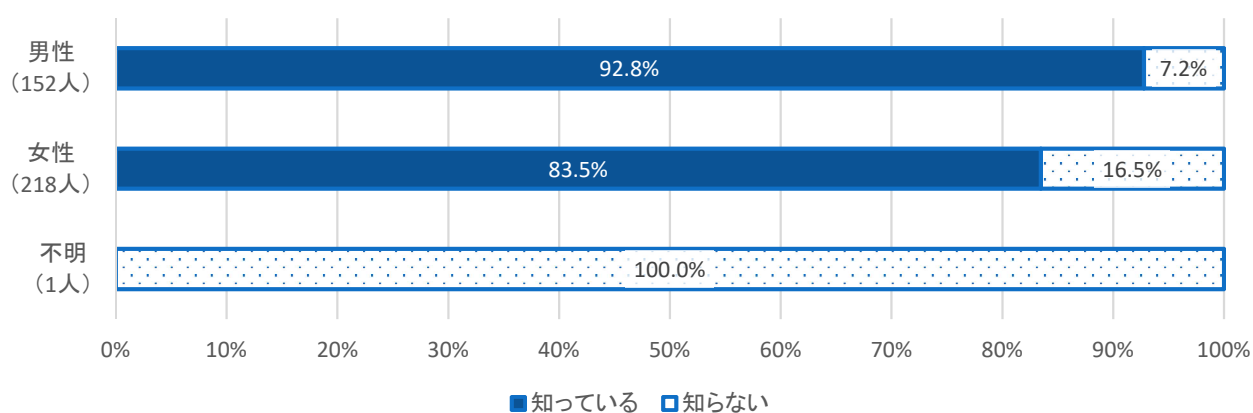
（回答者：371人）



【年代別】



【性別】

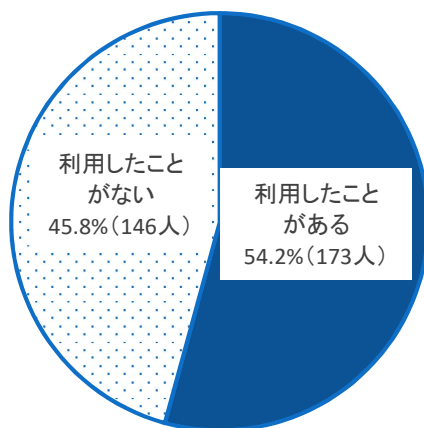


郡山中央スマートICの認知度について、全体の87.1%が「知っている」と回答した。年代別で見ると、30代から70代で約9割の方が「知っている」と回答している。一方で、10～20代においては66.7%とほかの年代より認知度が低い。

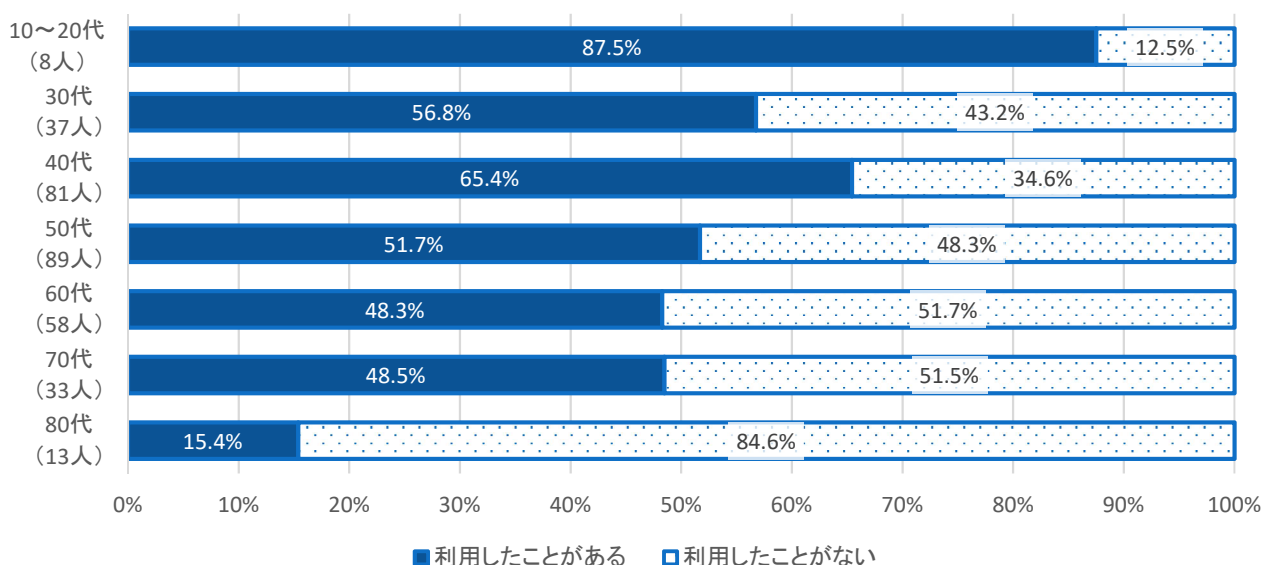
問19 あなたは郡山中央スマート I Cを利用したことがありますか。（1つ選択）

（回答者：319人）

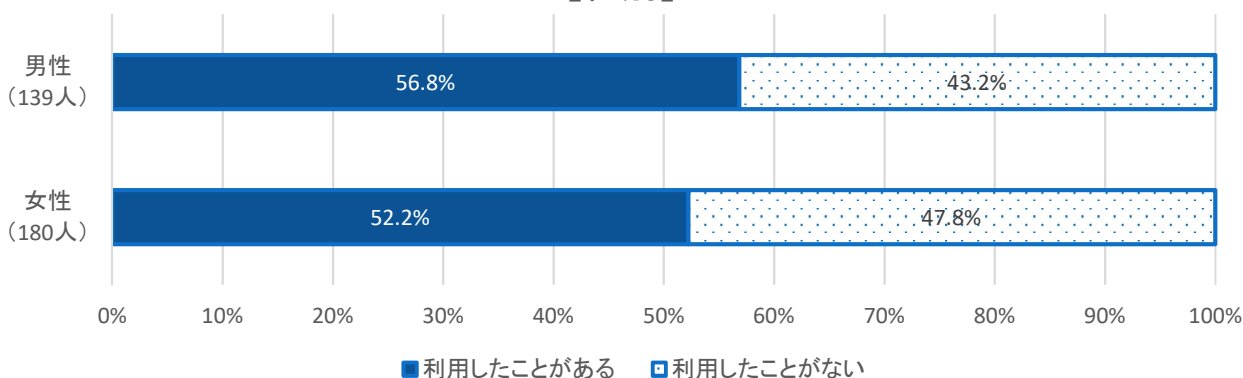
（無回答：4人）



【年代別】



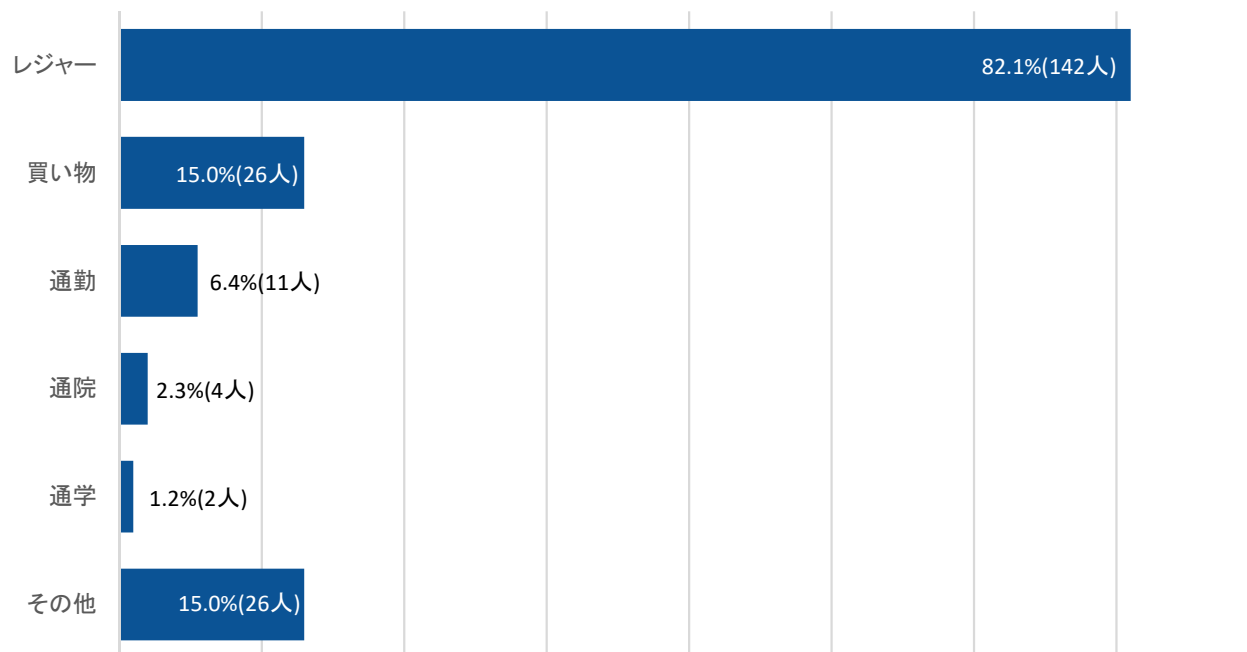
【性別】



問18で「知っている」と回答した方のうち、54.2%が「利用したことがある」と回答した。
 年代別で見ると、10～20代で87.5%と最も高く、次いで40代で65.4%であった。また、80代が最も低く15.4%であり、高齢により運転する機会が少なくなっていることが要因と考えられる。
 性別では、男性が56.8%、女性が52.2%と大きな差は見られなかった。

問20 問19で「利用したことがある」と回答された方に伺います。主にどのような場面で利用しますか。（複数選択可）

（回答者：173人）



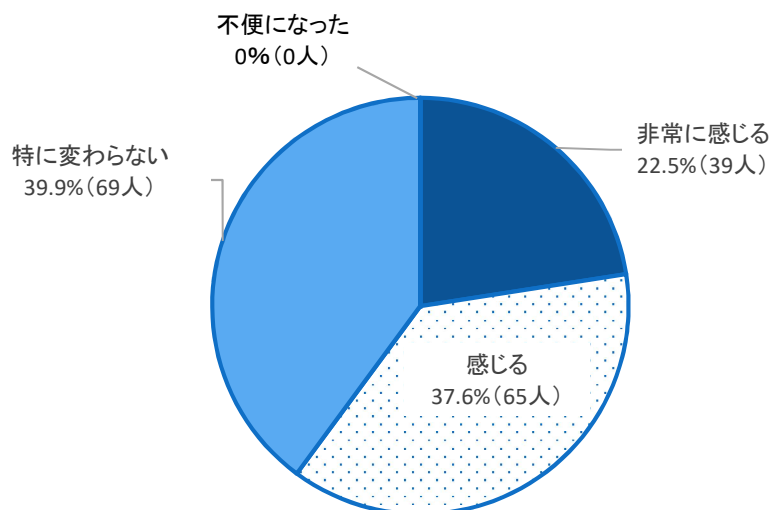
※「その他」を選択した方の主な意見

- ・出張
- ・帰省
- ・送迎等

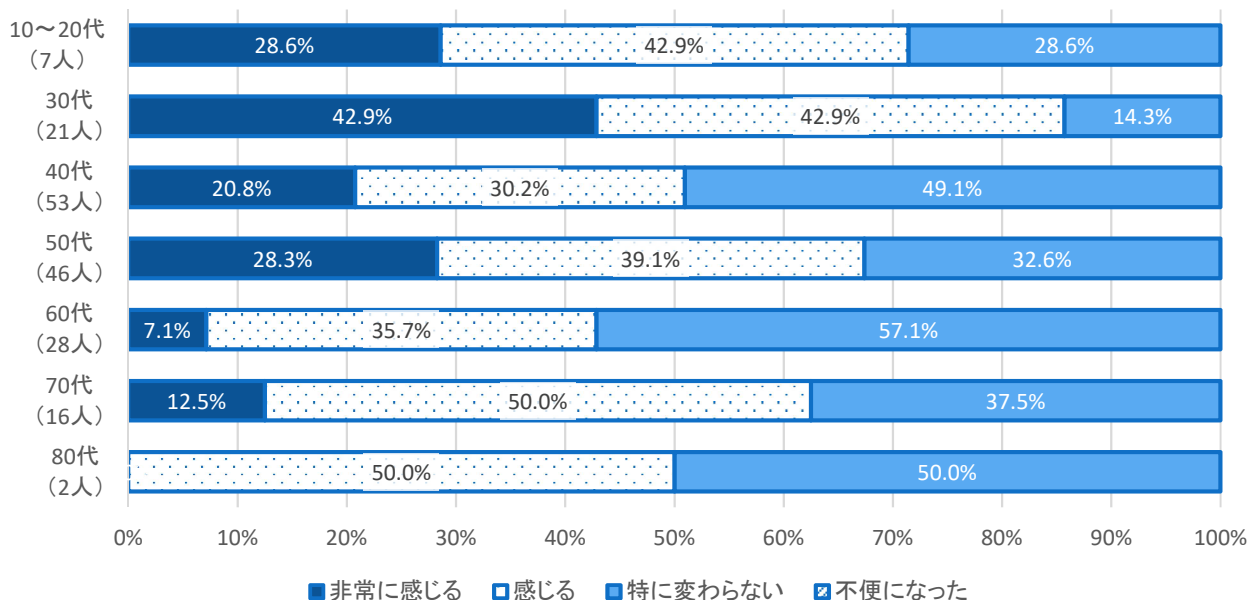
郡山中央スマートICの利用目的として、「レジャー」が82.1%と最も高く、次いで「買い物」が15.0%となっており、圧倒的にレジャーによる利用が多いことがわかる。この傾向は、問17の高速道路利用目的と同じ傾向であった。
その他の主な意見としては、「出張」や「帰省」、「送迎等」などが挙げられた。

問21 問19で「利用したことがある」と回答された方に伺います。あなたは郡山中央スマートICの開通により、移動が便利になったと感じますか。（1つ選択）

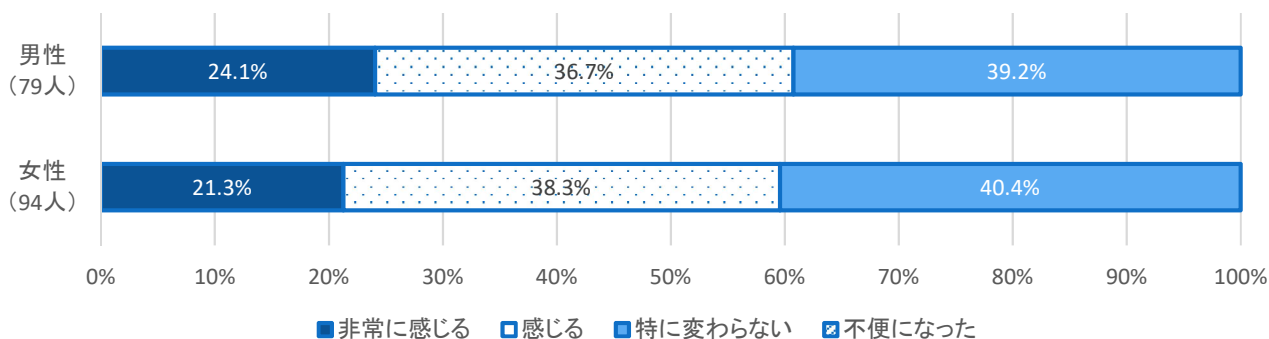
（回答者：173人）



【年代別】



【性別】



郡山中央スマートICの満足度について、「非常に感じる」もしくは「感じる」と回答された方は全体の60.1%であった。
年代別に見ると、便利と感じた方は30代が85.8%と最も高く、60代が42.8%と最も低かった。
性別では、男性が60.8%、女性が59.6%と大きな差は見られなかった。
郡山中央スマートICの満足度は高い傾向にある。

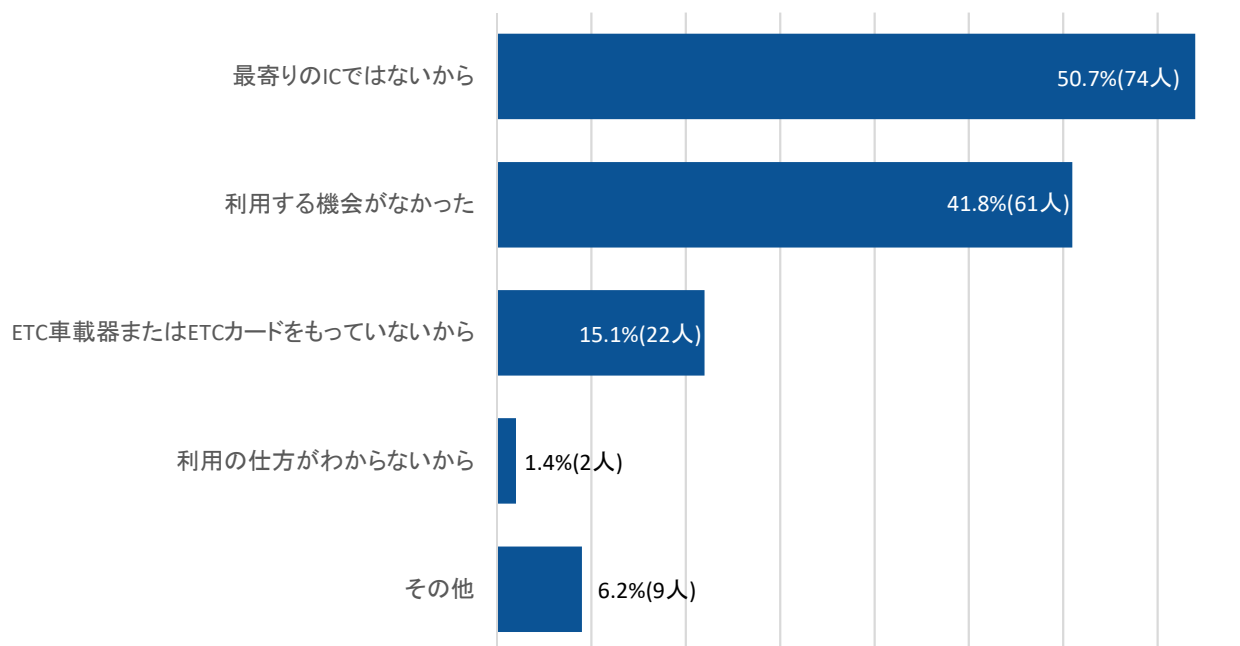
問22 問21でそのように回答した理由を教えてください。（自由記述）

（回答者：173人）

非常に感じる
・ICから職場も近く渋滞も少ないため、非常に便利になりました（40代・男性）
・家から近い為（40代・男性）
・関東方面に出かける際に、東北道に乗るまでの時間が郡山南インターの半分以下で済むため（40代・女性）
・郡山インターや南インターまで行かなくてもすぐに乗れる（30代・男性）
・混雑する国道49号線を通らずに高速へアクセスできる（60代・男性）
・自宅から近いインターチェンジが増えたため、行き先によって使い分けができるから（50代・男性）
・大槻、湖南町へのアクセスが良くなった（40代・男性）
感じる
・さくら通りを真っ直ぐに進んでいけば、高速に繋がるので便利になったと思う（40代・女性）
・一般道の混雑エリアを回避できる（40代・男性）
・会社から近い為（40代・男性）
・高速に乗りやすいから（70代・女性）
・市の中心にきわめて近い（70代・男性）
・時間が短縮できたから（30代・女性）
・自宅から近いから（30代・女性）
・東京方面に行く時に便利（60代・男性）
特に変わらない
・往路で中央を使っても、復路では郡山か郡山南で下りる事が多い（50代・女性）
・郡山ICの方が近い（40代・男性）
・自宅からの距離が遠い（50代・男性）
・自宅からの距離が他のICと大きな差がない（50代・男性）
・自宅に近いところに南インターがあるから（40代・女性）

問23 問19で「利用したことがない」と回答された方に伺います。その理由を教えてください。
(複数選択可)

(回答者：146人)



※「その他」を選択した方の主な意見

- ・場所を把握していない
- ・料金や時間等を考慮の上で、本宮や白河を選択するため
- ・事故が怖いので自分では高速を使わない
- ・遠すぎて利用に不便
- ・車を保有していない など

郡山中央インターチェンジを利用しない方にその理由を伺ったところ、「最寄りのICではないから」が50.7%と最も高かった。
その他の主な意見として「場所を把握していない」や「料金や時間等を考慮の上で、本宮や白河を選択するため」などが挙げられた。